

春日部市
子育て支援に係るアンケート調査
結果報告書

令和6年9月
春日部市

目 次

【1】子育て支援に係るアンケート調査	1
1 調査概要	1
2 未就学児童保護者アンケート調査結果	2
2-1 子育て家庭の状況	2
2-2 保護者の就労状況・職場の両立支援	5
2-3 教育・保育事業の利用状況	13
2-4 地域の子育て支援事業の利用状況	19
2-5 病気の際の対応	22
2-6 こどもの宿泊を伴う事業の利用	25
2-7 小学校就学後の放課後の過ごし方	27
2-8 こどもの育ちを巡る環境	29
3 就学児童保護者アンケート調査結果	34
3-1 子育て家庭の状況	34
3-2 保護者の就労状況	42
3-3 放課後の過ごし方	45
3-4 病気やけがの際の対応	49
3-5 こどもの宿泊を伴う事業の利用	52
3-6 こどもの育ちを巡る環境	53
4 自由記述	56

【1】子育て支援に係るアンケート調査

1 調査概要

①調査目的

春日部市では、こども基本法（令和4年法律第77号）第10条に基づき、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする、「春日部市こども計画」を策定することとなりました。

本調査は、子育て家庭の生活状況や市の施策に対する市民の皆様のご意見・ご要望を把握し、計画策定の参考とするために実施しました。

②調査の種類と実施方法

本調査においては、対象別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。なお、調査対象者は令和6年4月1日時点で該当の年齢・学年の方となります。

期間	対象	目的・設問例	調査方法
3月27日～ 4月12日	未就学児童 の保護者 2,000件 就学児童の 保護者 1,500件	子育て中の親の不安や悩み、地域社会とのつながり、子育て支援に対する意向等を把握し、必要な施策検討の参考とする 【設問例】 ・子育てに対する不安・負担感 ・こどもの成長に対する不安・悩み ・利用したい幼児教育・保育施設等 ・社会とのつながり、活動への参加	郵送配布・回収

③回収結果

調査の種類	調査票配布数	回収数	回収率
未就学児童の 保護者	2,000件	1,298件 WEB:900件 紙:398件	64.9%
就学児童の 保護者	1,500件	944件 WEB:658件 紙:286件	62.9%

④報告書の見方

- ・図表中の「n=○」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
- ・調査結果の比率は百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・本文や図表中において、選択肢の文言が長い場合は、選択肢を一部省略しています。
- ・グラフに関して、年齢別によるクロス集計を行い、単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとして記載しています。

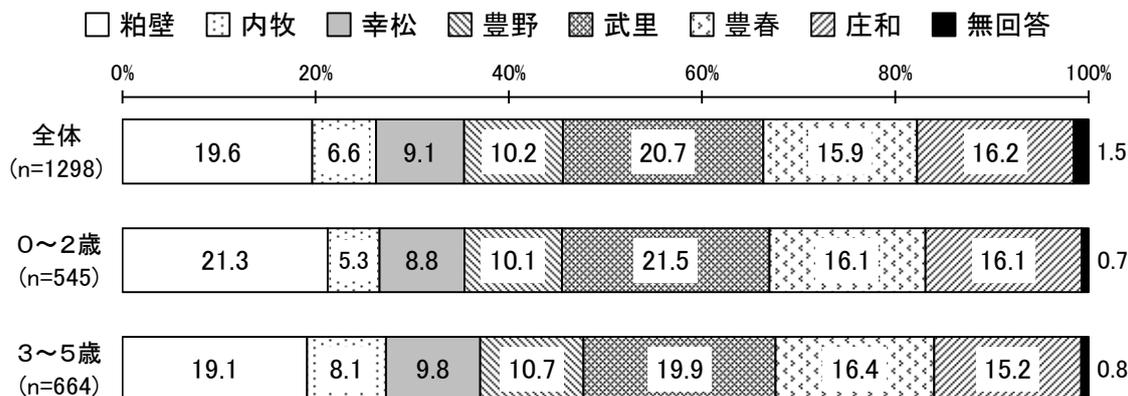
2 未就学児童保護者アンケート調査結果

2-1 子育て家庭の状況

①居住地区

問1 お住まいの地区をお答えください。

全体では「武里」の割合が20.7%で最も高く、次いで「粕壁」(19.6%)、「庄和」(16.2%)などの順となっています。



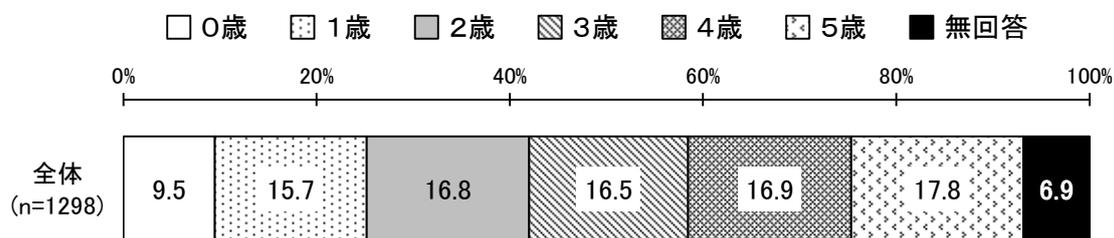
【市内地区一覧表】

地区名	町名
粕壁	粕壁、粕壁1~4丁目、中央1~8丁目、浜川戸1~2丁目、粕壁東1~6丁目、緑町1~6丁目、南1~5丁目、八木崎町
内牧	梅田、梅田1~3丁目、梅田本町1~2丁目、内牧、南栄町、栄町1~3丁目
幸松	八丁目、小淵、不動院野、樋籠、牛島、樋堀、新川
豊野	赤沼、銚子口、藤塚、六軒町、本田町1~2丁目、豊野町1~3丁目
武里	千間1丁目、備後西1~5丁目、備後東1~8丁目、一ノ割、一ノ割1~4丁目、武里中野、薄谷、大場、大畑、大枝、増田新田、武里団地1~9街区
豊春	谷原新田、上大増新田、下大増新田、増富、増戸、下蛭田、花積、道口蛭田、上蛭田、道順川戸、南中曽根、新方袋、西八木崎1~3丁目、谷原1~3丁目、大沼1~7丁目、豊町1~6丁目
庄和	水角、赤崎、飯沼、米崎、米島、東中野、新宿新田、永沼、下柳、上柳、上金崎、金崎、西金野井、大衾、神間、榎、立野、櫛、小平、下吉妻、上吉妻、西宝珠花、西親野井、塚崎、倉常、芦橋、木崎

②子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢をお答えください。

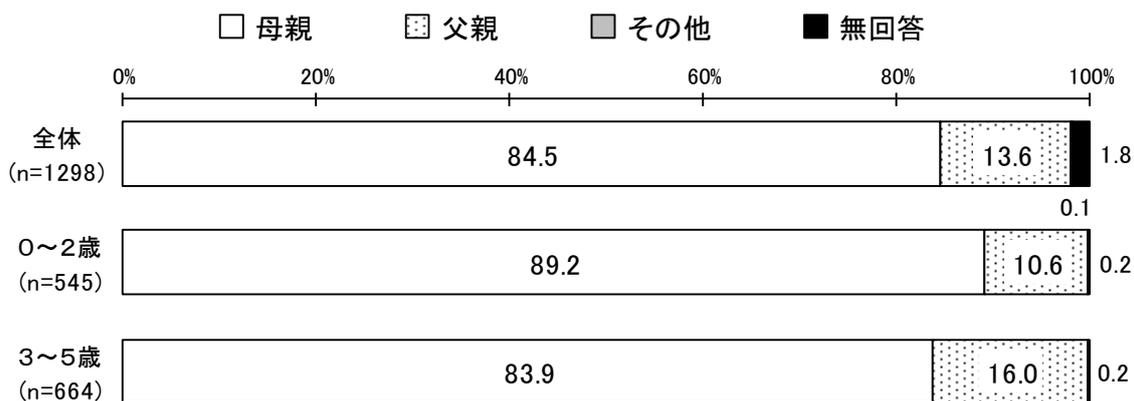
全体では「5歳」の割合が17.8%で最も高く、次いで「4歳」(16.9%)、「2歳」(16.8%)などの順となっています。



③回答者

問3 この調査にご回答いただく方はどなたですか。

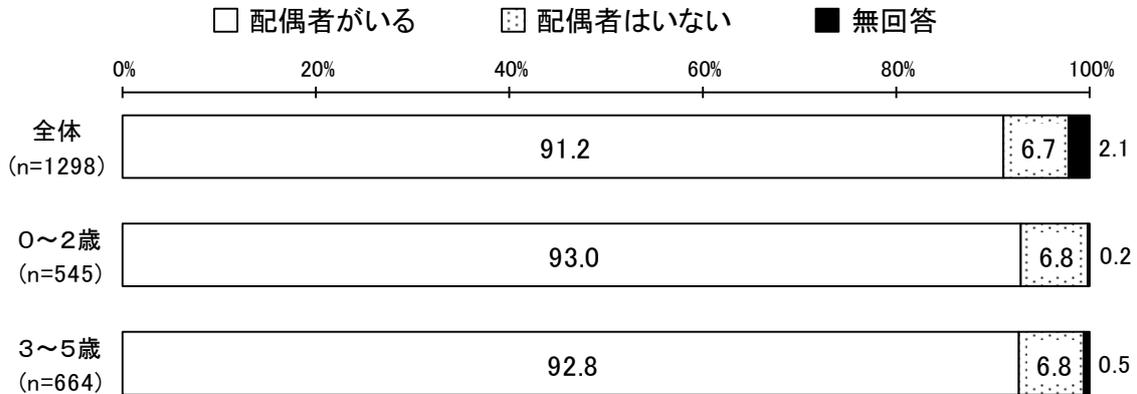
全体では「母親」の割合が84.5%で最も高く、次いで「父親」(13.6%)、「その他」(0.1%)の順となっています。



④回答者の配偶関係

問4 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

全体では「配偶者がいる」の割合が91.2%で、「配偶者はいない」(6.7%)を上回っています。

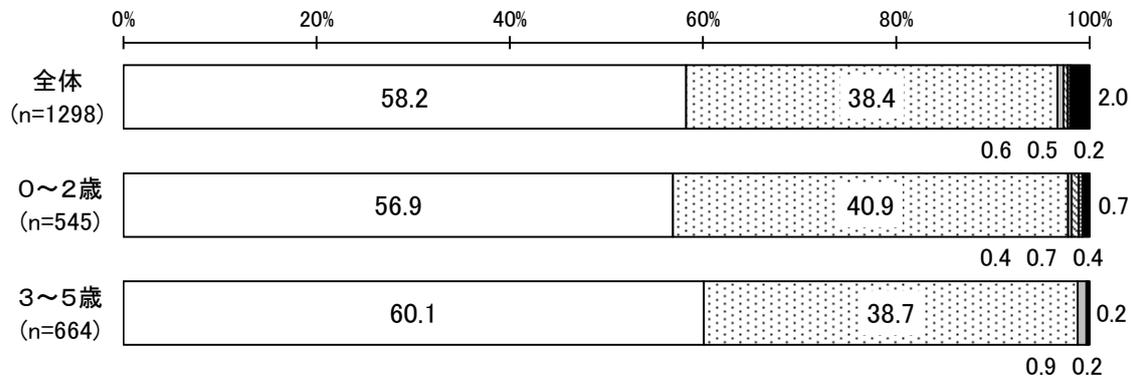


⑤育児者

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方をお答えください。

全体では「父母ともに」の割合が58.2%で最も高く、次いで「主に母親」(38.4%)、「主に父親」(0.6%)などの順となっています。前回調査より「父母ともに」(前回45.8%)が12.4ポイント増加し、「主に母親」(前回50.8%)は12.4ポイント減少しています。

□ 父母ともに ▨ 主に母親 ■ 主に父親 ▩ 主に祖父母 ▤ その他 ■ 無回答



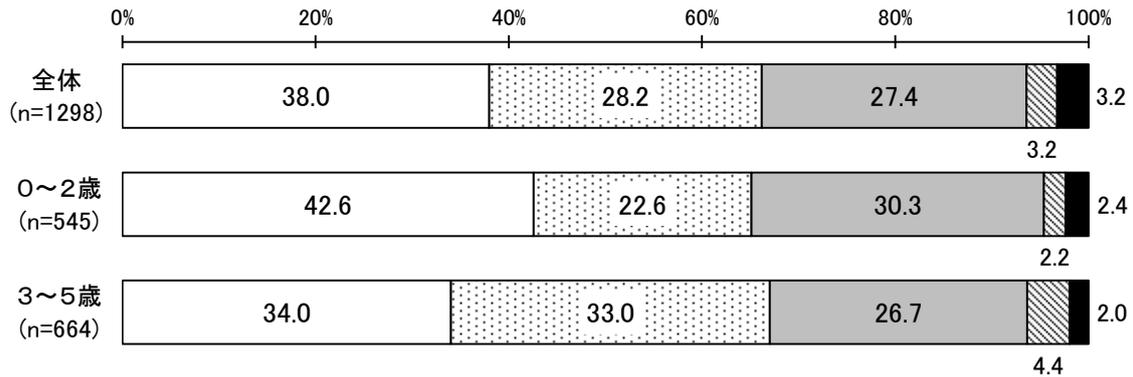
2-2 保護者の就労状況・職場の両立支援

①母親の就労形態

問6 就労形態についてお答えください。

全体では「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が38.0%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」（28.2%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（27.4%）などの順となっています。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)
 以前は就労していたが、現在は就労していない
 これまでに就労したことがない
 無回答



※「フルタイム」「パート・アルバイト等」は産休・育休・介護休業中を含みます。

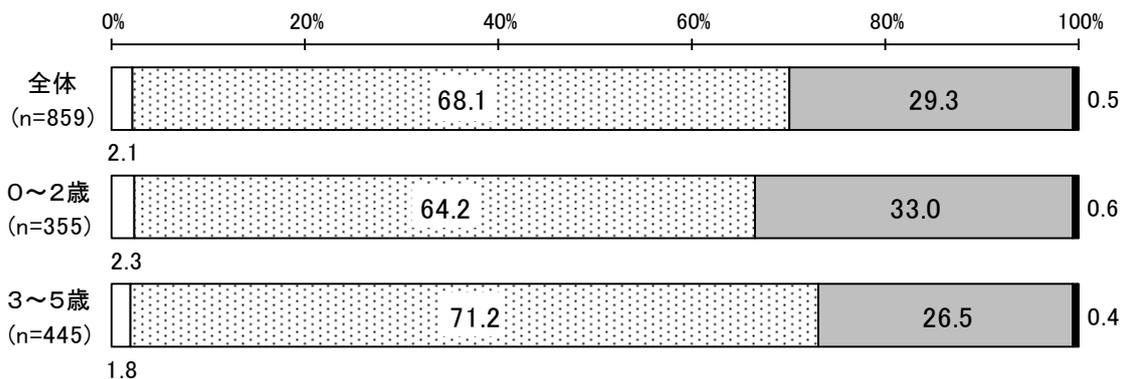
②母親の就労時間

問6で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」を選んだ方にうかがいます。

問6-1 普段の就労時間について最も多いパターンをお答えください。

全体では「1日3時間以上8時間未満」の割合が68.1%で最も高く、次いで「1日8時間以上（残業を含む）」（29.3%）、「1日3時間未満」（2.1%）の順となっています。

- 1日3時間未満
 1日3時間以上8時間未満
 1日8時間以上(残業を含む)
 無回答

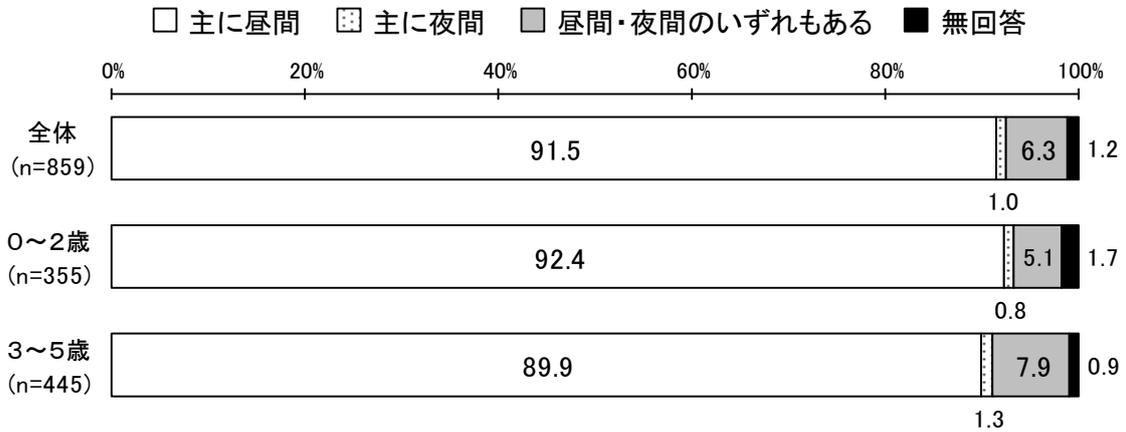


③母親の就労時間帯

問6で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」を選んだ方にうかがいます。

問6-2 普段の就労時間帯について最も多いパターンをお答えください。

全体では「主に昼間」の割合が91.5%で最も高く、次いで「昼間・夜間のいずれもある」(6.3%)、「主に夜間」(1.0%)の順となっています。

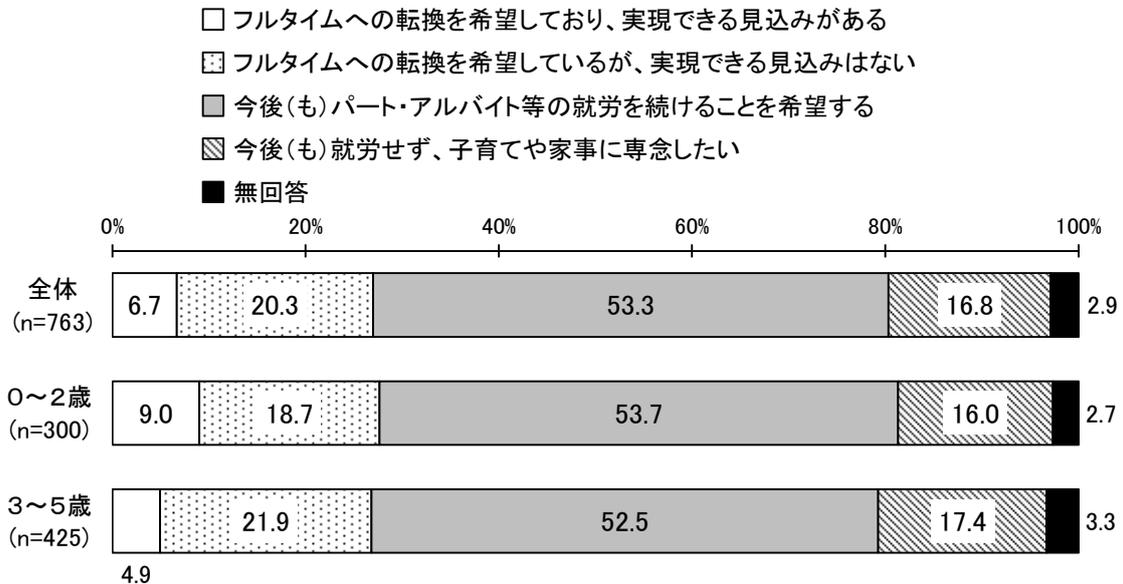


④母親の今後3年以内のフルタイム就労への転換希望

問6で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」以外を選んだ方にうかがいます。

問6-3 今後1～3年以内にフルタイム就労への転換を希望しますか。

全体では「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合が53.3%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換を希望しているが、実現できる見込みはない」(20.3%)、「今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい」(16.8%)などの順となっています。

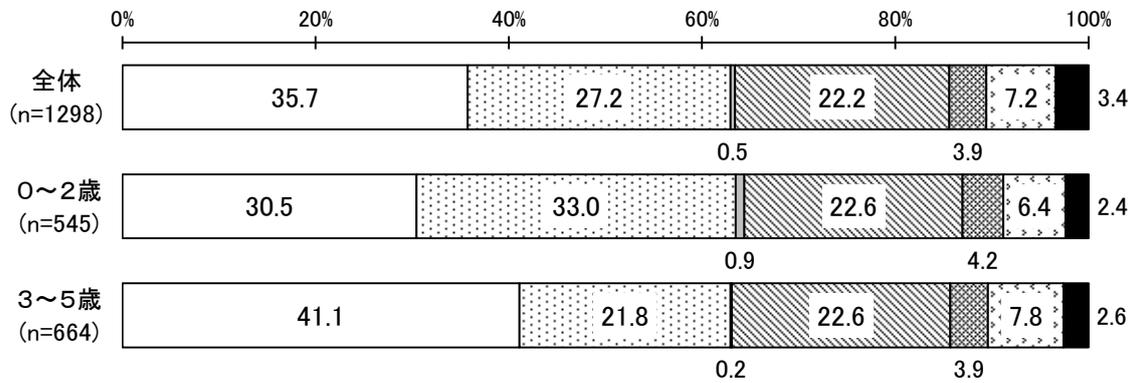


⑤母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用

問7 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。

全体では「働いていなかった」の割合が35.7%で最も高く、次いで「育児休業のみ取得した」(27.2%)、「育児休業・短時間勤務制度の両方を取得・利用した(育児休業後の利用も含む)」(22.2%)などの順となっています。一部選択肢が異なりますが、前回調査より「働いていなかった」(前回51.4%)は15.7ポイント減少し、育児休業を取得した割合(前回36.9%)は「育児休業のみ取得した」と「育児休業・短時間勤務制度の両方を取得・利用した」の合計が49.4%と、12.5ポイント増加しています。

- 働いていなかった
- 育児休業のみ取得した
- 短時間勤務制度のみ利用した
- 育児休業・短時間勤務制度の両方を取得・利用した(育児休業後の利用も含む)
- 制度がなかった
- 働いていたが、いずれも取得・利用していない
- 無回答

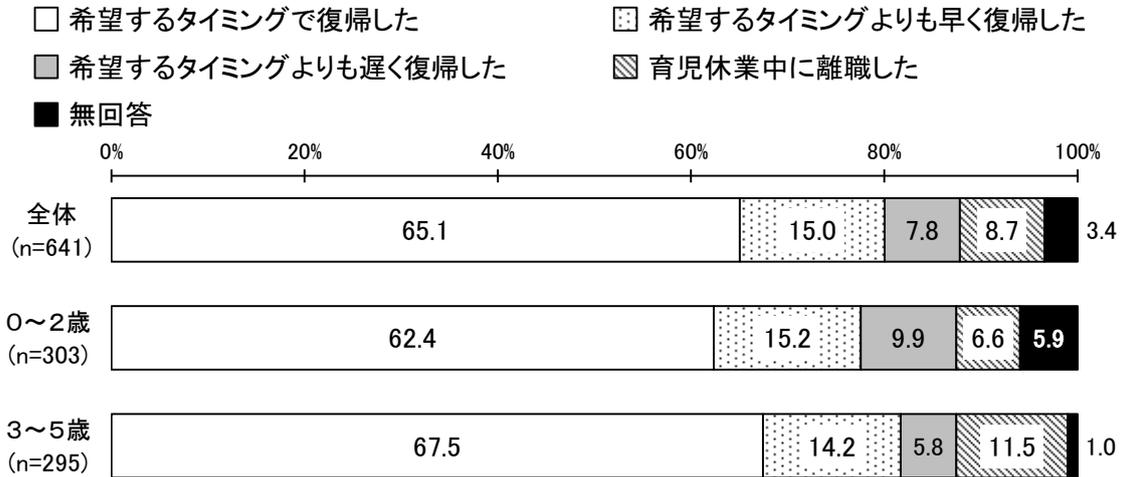


⑥母親の育児休業後の職場復帰

問7で「育児休業のみ取得した」「育児休業・短時間勤務制度の両方を取得・利用した（育児休業後の利用も含む）」を選んだ方にうかがいます。

問7-1 育児休業後、職場に復帰しましたか。

全体では「希望するタイミングで復帰した」の割合が65.1%で最も高く、次いで「希望するタイミングよりも早く復帰した」（15.0%）、「育児休業中に離職した」（8.7%）などの順となっています。

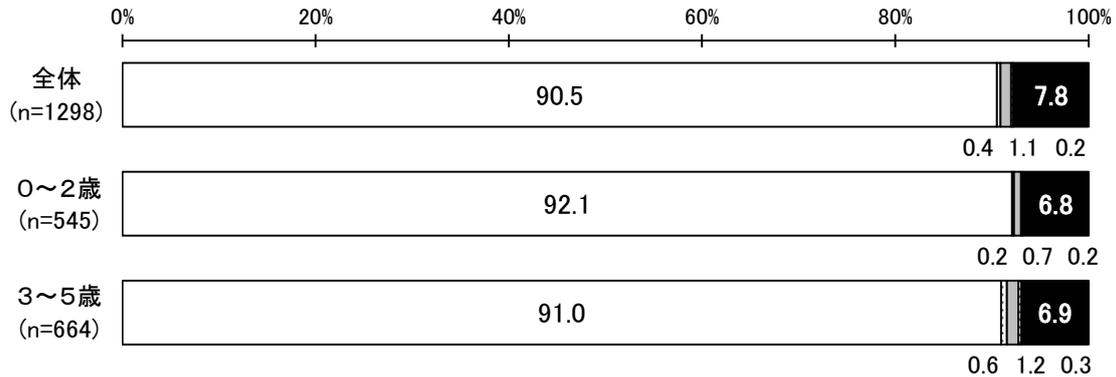


⑦父親の就労形態

問8 就労形態についてお答えください。

全体では「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が90.5%で最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」（1.1%）、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」（0.4%）などの順となっています。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)
 以前は就労していたが、現在は就労していない
 これまでに就労したことがない
 無回答



※「フルタイム」「パート・アルバイト等」は産休・育休・介護休業中を含みます。

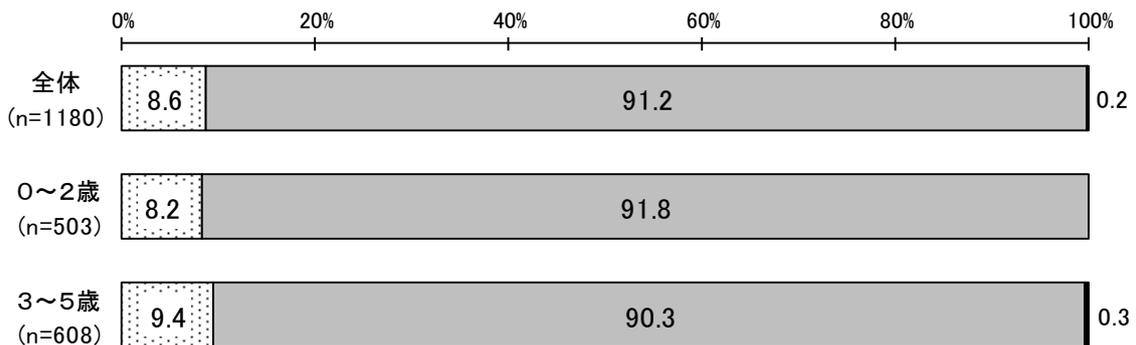
⑧父親の就労時間

問8 「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」を選んだ方にうかがいます。

問8-1 普段の就労時間について最も多いパターンをお答えください。

全体では「1日8時間以上（残業を含む）」の割合が91.2%で最も高く、次いで「1日3時間以上8時間未満」（8.6%）の順となっています。

- 1日3時間未満
 1日3時間以上8時間未満
 1日8時間以上(残業を含む)
 無回答

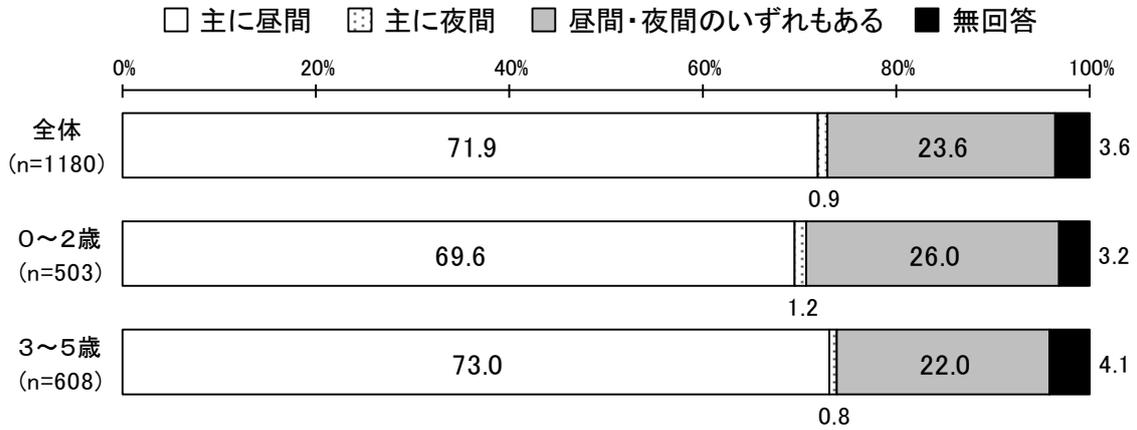


⑨父親の就労時間帯

問8「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」を選んだ方にうかがいます。

問8-2 普段の就労時間帯について最も多いパターンをお答えください。

全体では「主に昼間」の割合が71.9%で最も高く、次いで「昼間・夜間のいずれもある」(23.6%)、「主に夜間」(0.9%)の順となっています。



⑩父親の今後3年以内のフルタイム就労への転換希望

問8で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」以外を選んだ方にうかがいます。

問8-3 今後1~3年以内にフルタイム就労への転換を希望しますか。

全体では「フルタイムへの転換を希望しており、実現できる見込みがある」の割合が31.8%で最も高く、次いで「今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」(22.7%)、「フルタイムへの転換を希望しているが、実現できる見込みはない」(18.2%)などの順となっています。

- フルタイムへの転換を希望しており、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換を希望しているが、実現できる見込みはない
- 今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する
- 今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい
- 無回答

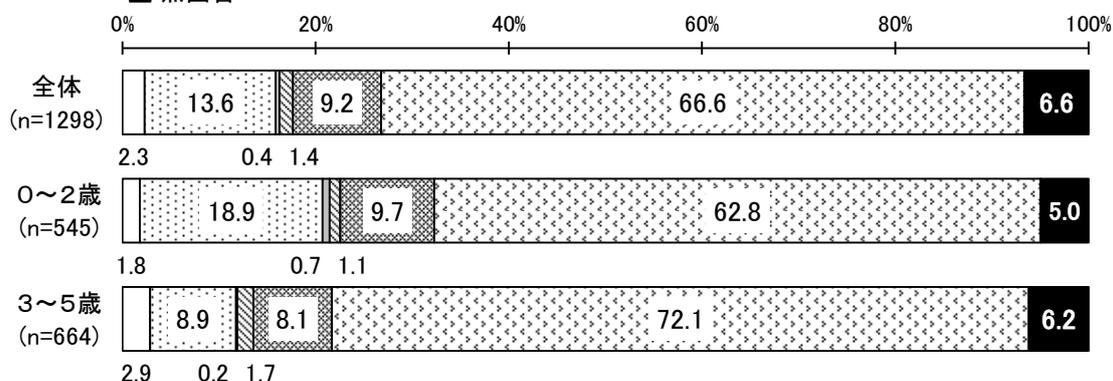


①父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用

問9 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。

全体では「働いていたが、いずれも取得・利用していない」の割合が66.6%で最も高く、次いで「育児休業のみ取得した」(13.6%)、「制度がなかった」(9.2%)などの順となっています。一部選択肢が異なりますが、前回調査より育児休業を取得していない割合(前回88.7%)は22.1ポイント減少し、育児休業を取得した割合(前回2.7%)は「育児休業のみ取得した」と「育児休業・短時間勤務制度の両方を取得・利用した」の合計が15.0%と、12.3ポイント増加しています。

- 働いていなかった
- 育児休業のみ取得した
- 短時間勤務制度のみ利用した
- 育児休業・短時間勤務制度の両方を取得・利用した(育児休業後の利用も含む)
- 制度がなかった
- 働いていたが、いずれも取得・利用していない
- 無回答

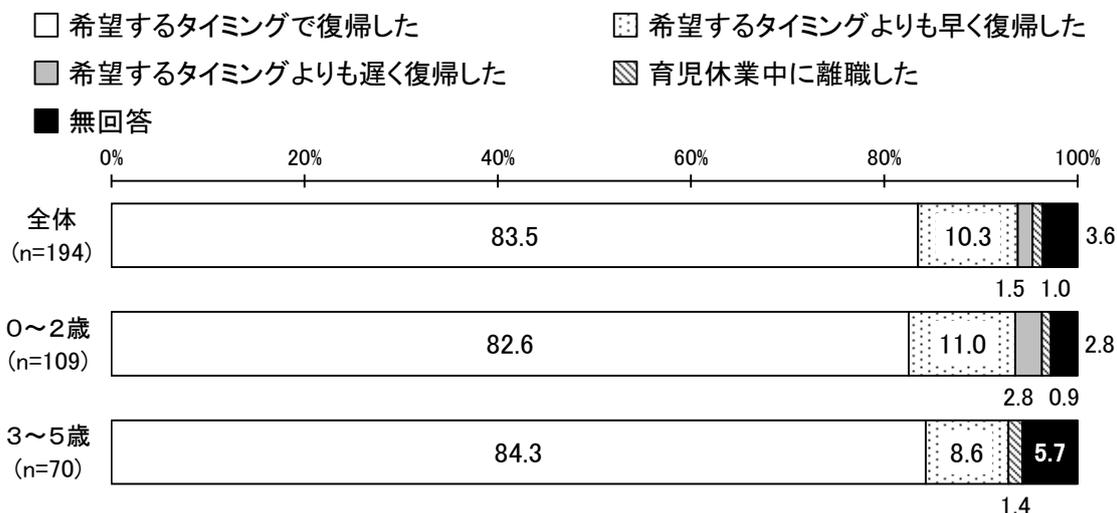


⑫父親の育児休業後の職場復帰

問9で「育児休業のみ取得した」「育児休業・短時間勤務制度の両方を取得・利用した（育児休業後の利用も含む）」を選んだ方にうかがいます。

問9-1 育児休業後、職場に復帰しましたか。

全体では「希望するタイミングで復帰した」の割合が83.5%で最も高く、次いで「希望するタイミングよりも早く復帰した」(10.3%)、「希望するタイミングよりも遅く復帰した」(1.5%)などの順となっています。



2-3 教育・保育事業の利用状況

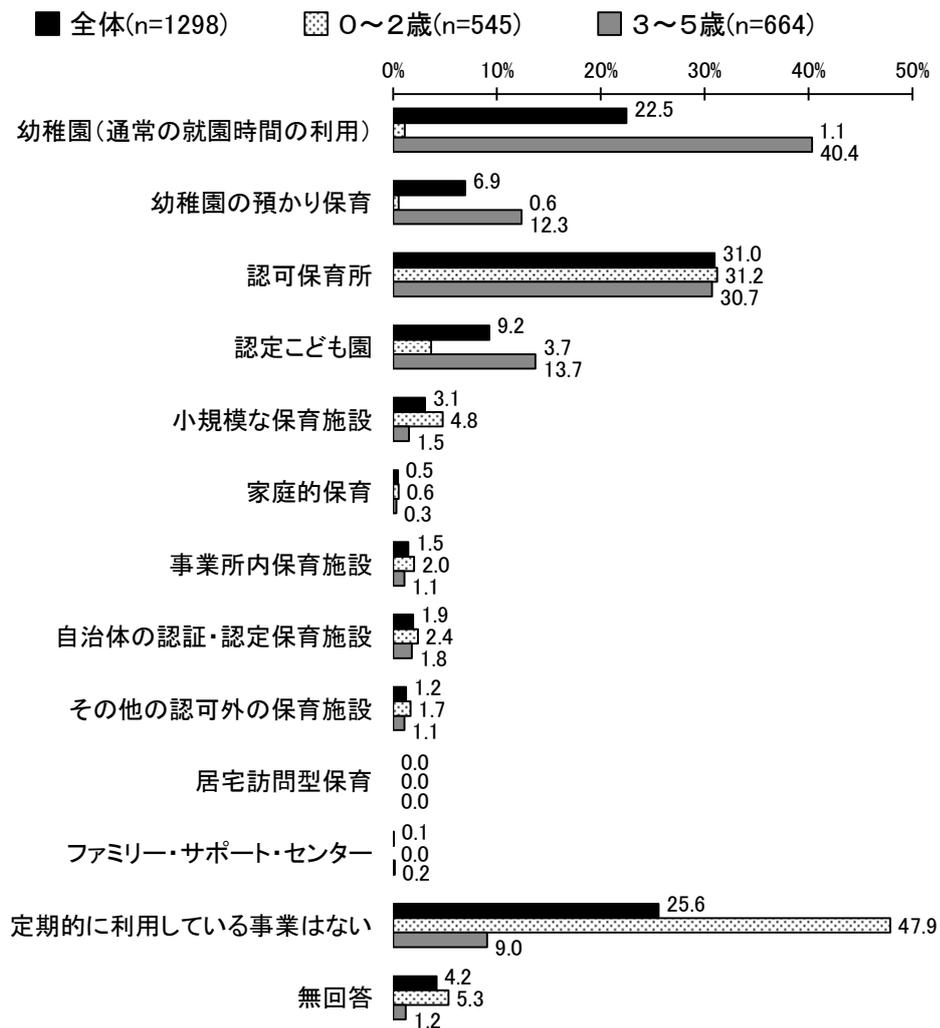
①教育・保育事業の利用状況

問10 以下の教育・保育事業の中で、宛名のお子さんが「現在利用しているもの」はどれですか。定期的（毎日、決まった曜日や時間帯など）と、不定期（たまに）別にお答えください。【複数回答】

(1)定期的な利用事業

全体では「認可保育所」の割合が31.0%で最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」（22.5%）、「認定こども園」（9.2%）などの順となっています。なお、「定期的に利用している事業はない」の割合は25.6%となっています。

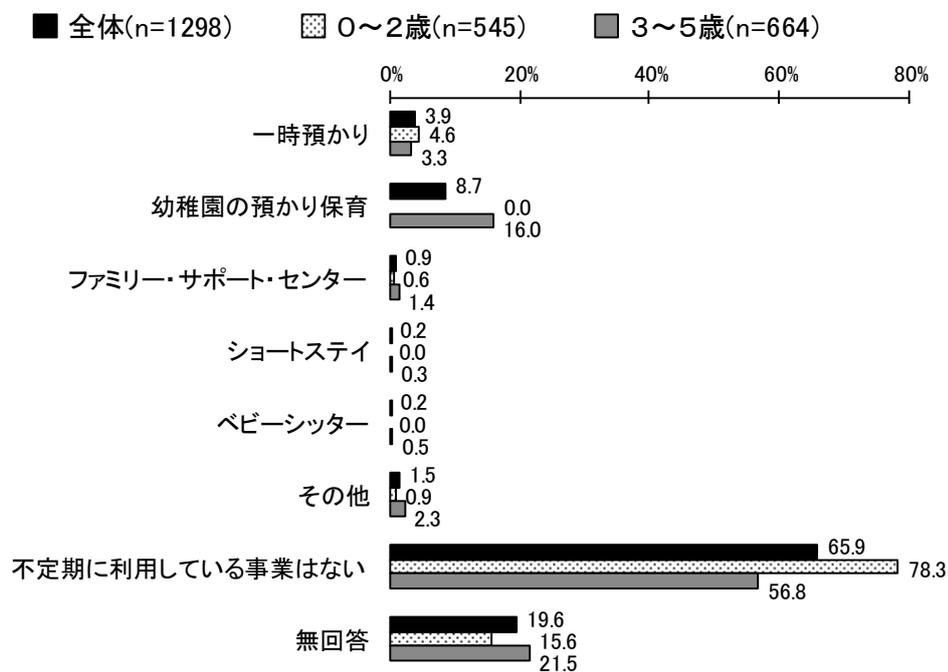
0～2歳では「定期的に利用している事業はない」の割合は47.9%で、前回調査（58.5%）に比べて10.6ポイント減少しています。



(2) 不規則の利用事業

全体では「不規則に利用している事業はない」の割合は65.9%となっています。利用されている方の事業では、「幼稚園の預かり保育」の割合が8.7%で、次いで「一時預かり」(3.9%)、「その他」(1.5%)などの順となっています。

0～2歳では「不規則に利用している事業はない」の割合は78.3%となっています。

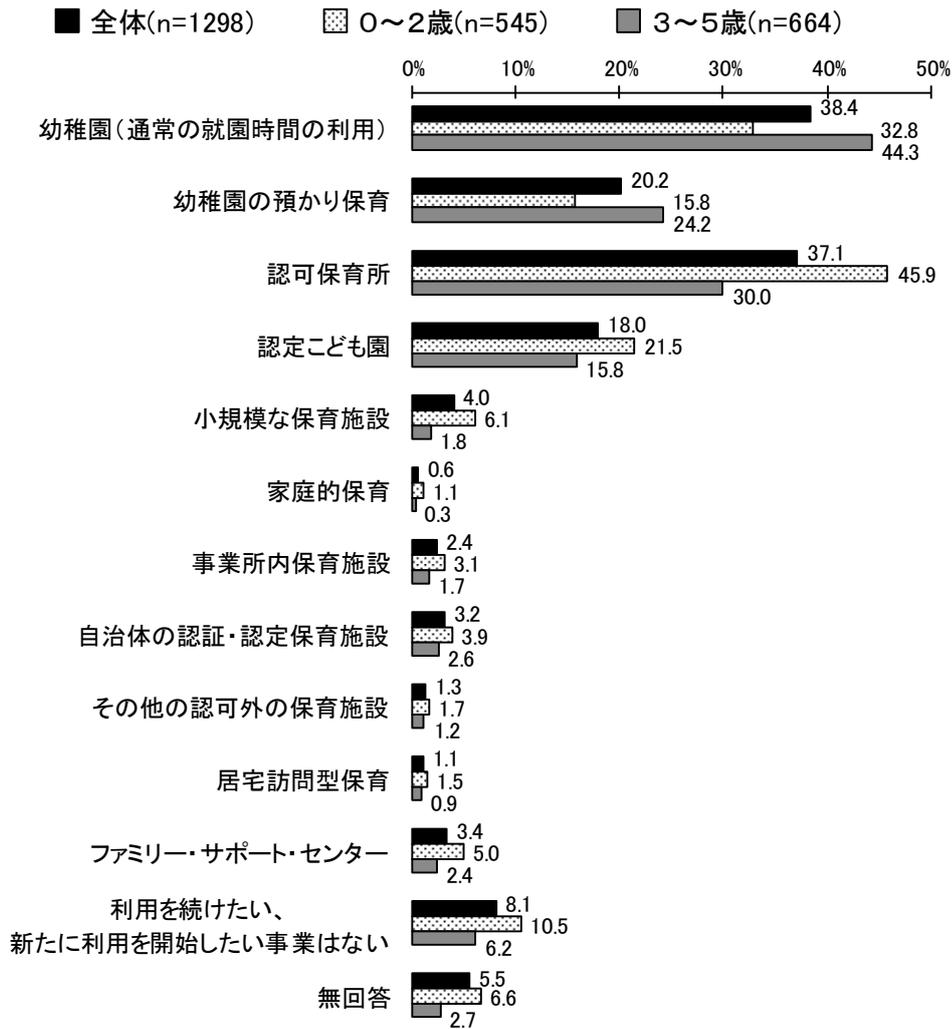


②教育・保育事業の利用希望

問11 以下の教育・保育事業の中で、「今後も利用を続けたい」、「新たに利用を開始したい」ものはどれですか。定期的（毎日、決まった曜日や時間帯など）と、不定期（たまに）別にお答えください。【複数回答】

(1)定期的な利用開始・継続利用の希望

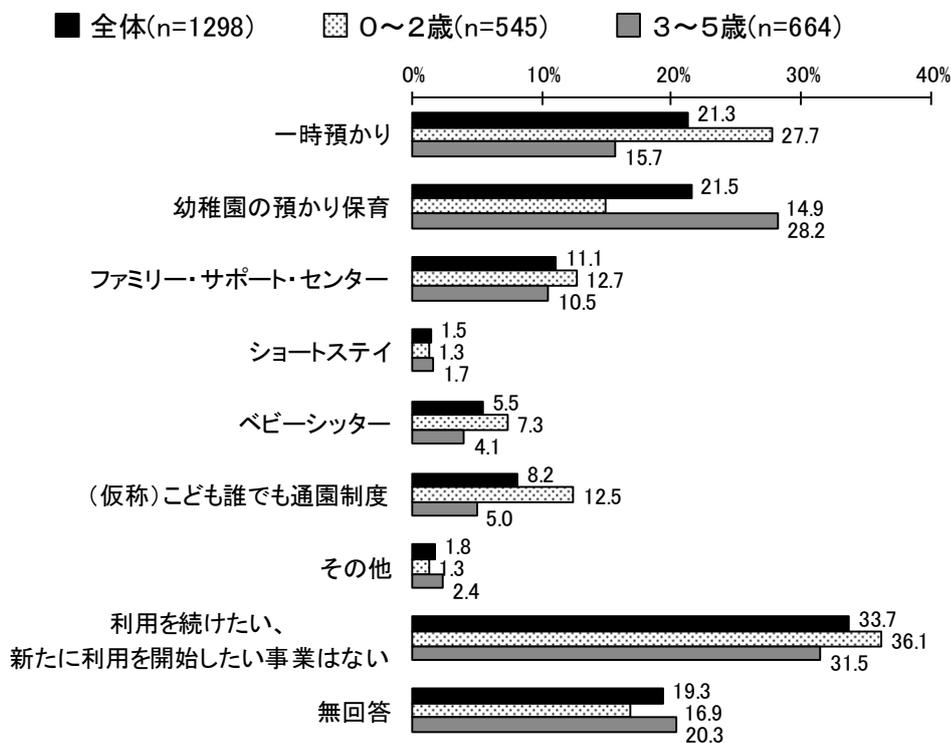
全体では「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が38.4%で最も高く、次いで「認可保育所」（37.1%）、「幼稚園の預かり保育」（20.2%）などの順となっています。一部選択肢が異なりますが、前回調査より「幼稚園の預かり保育」（前回9.6%）は10.6ポイント、「認定こども園」（前回8.2%）は9.8ポイント増加しています。



(2)不定期の利用開始・継続利用の希望

全体では「利用を続けたい、新たに利用を開始したい事業はない」の割合が33.7%となっています。希望がある方の事業では「幼稚園の預かり保育」の割合が21.5%で最も高く、次いで「一時預かり」(21.3%)、「ファミリー・サポート・センター」(11.1%)などの順となっています。

0～2歳では、「利用を続けたい、新たに利用を開始したい事業はない」が36.1%、「一時預かり」が27.7%、「幼稚園の預かり保育」が14.9%、「(仮称)こども誰でも通園制度」が12.5%となっています。

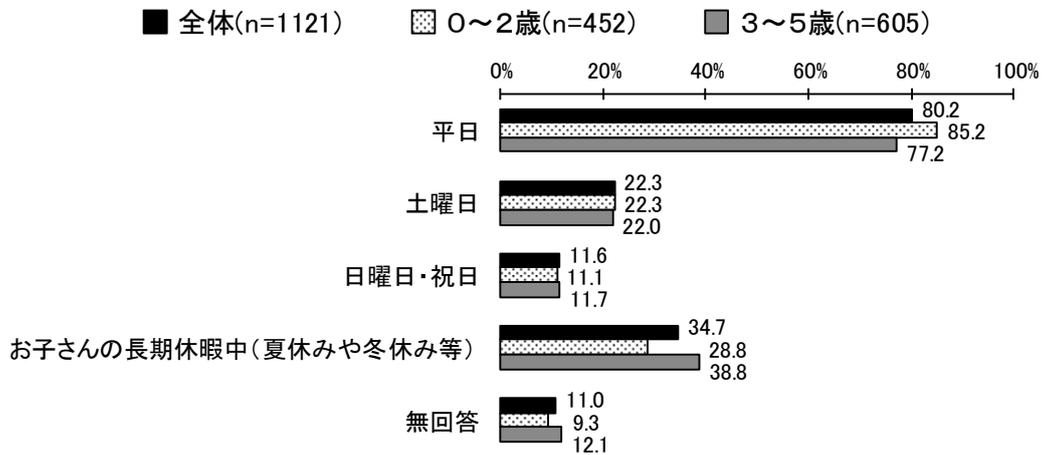


③教育・保育事業の定期的な利用希望日

問11(1)で1つでも「利用を続けたい、新たに利用を開始したい事業はない」以外を選んだ方にかがいます。

問11-1 今後はいつ教育・保育事業を「定期的に」利用したいですか。【複数回答】

全体では「平日」の割合が80.2%で最も高く、次いで「お子さんの長期休暇中（夏休みや冬休み等）」（34.7%）、「土曜日」（22.3%）などの順となっています。

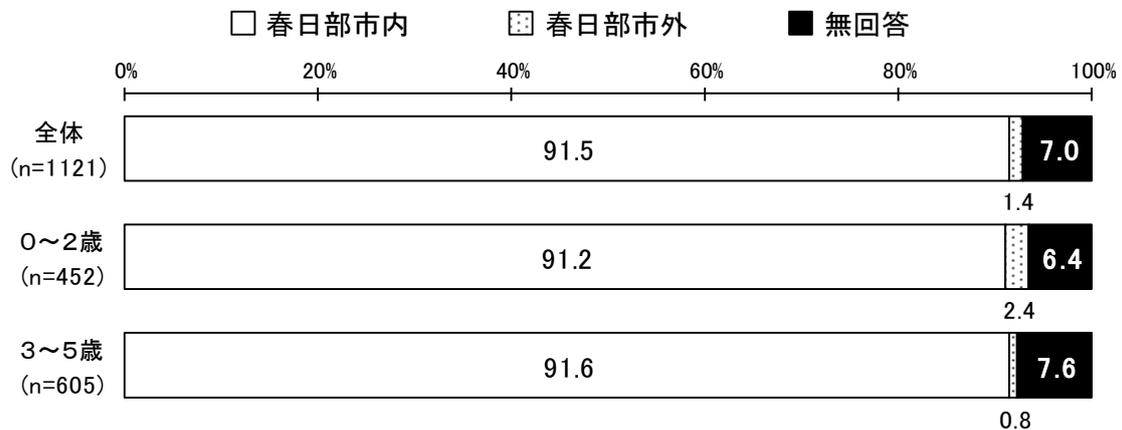


④教育・保育事業の利用希望場所

問11(1)で1つでも「利用を続けたい、新たに利用を開始したい事業はない」以外を選んだ方にかがいます。

問11-2 教育・保育事業を利用したい場所をお答えください。

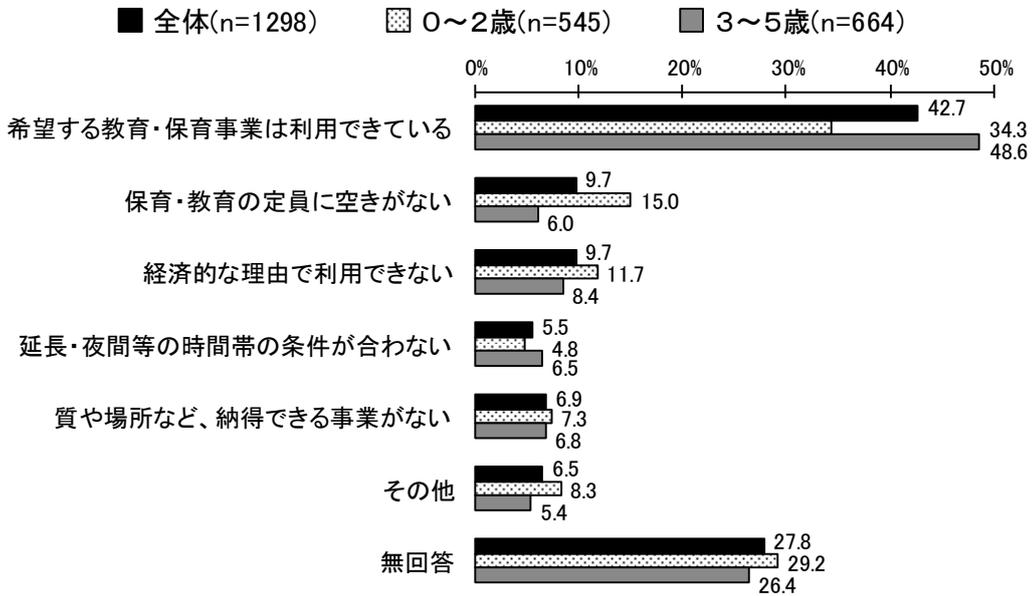
全体では「春日部市内」の割合が91.5%で、「春日部市外」（1.4%）を上回っています。



⑤教育・保育事業を利用したいができていない理由

問12 現在、「利用したいのに、利用できていない」教育・保育事業はありますか。利用できていない理由について、主なものをお答えください。【複数回答】

全体では「希望する教育・保育事業は利用できている」の割合が42.7%で最も高く、次いで「保育・教育の定員に空きがない」「経済的な理由で利用できない」（同率9.7%）、「質や場所など、納得できる事業がない」（6.9%）などの順となっています。



2-4 地域の子育て支援事業の利用状況

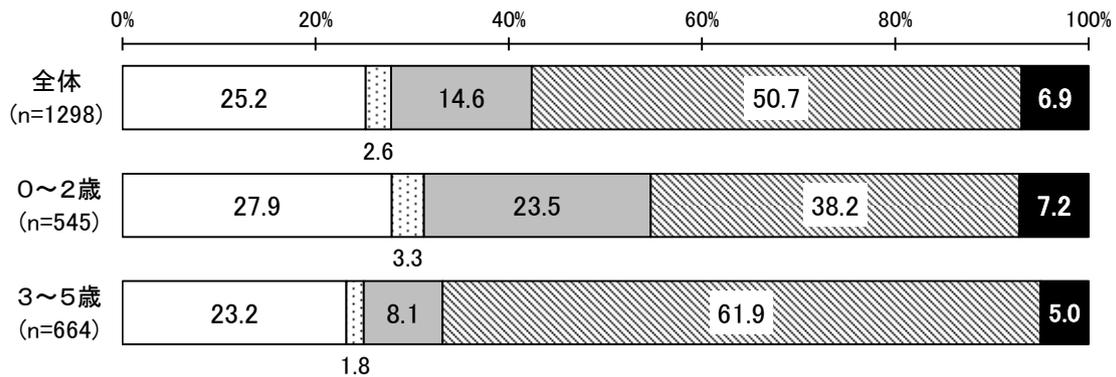
①教育・保育事業の利用意向

問13 現在、春日部市で行っている以下の事業について、今後利用したいと思いますか。

(1)利用者支援事業

全体では「利用は希望しない」の割合が50.7%で最も高く、次いで「利用していないが、新たに利用したい」(25.2%)、「すでに利用しており、利用日数を維持したい」(14.6%)などの順となっています。

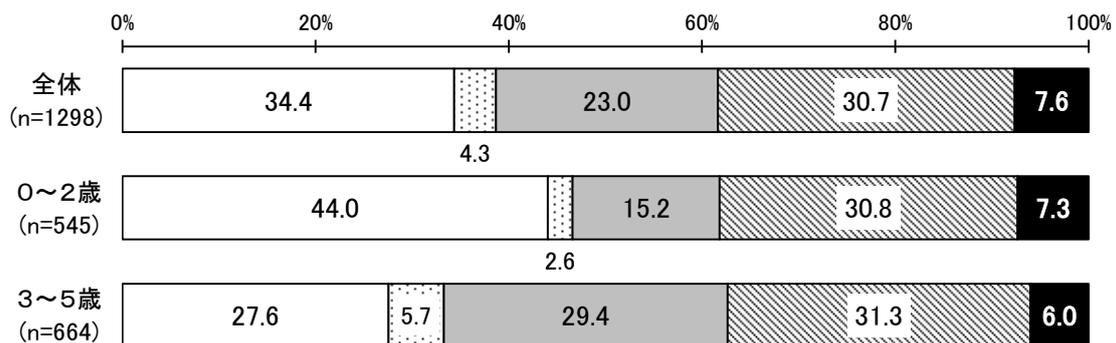
- 利用していないが、新たに利用したい すでに利用しており、利用日数を増やしたい
 すでに利用しており、利用日数を維持したい 利用は希望しない
 無回答



(2)延長保育事業

全体では「利用していないが、新たに利用したい」の割合が34.4%で最も高く、次いで「利用は希望しない」(30.7%)、「すでに利用しており、利用日数を維持したい」(23.0%)などの順となっています。

- 利用していないが、新たに利用したい すでに利用しており、利用日数を増やしたい
 すでに利用しており、利用日数を維持したい 利用は希望しない
 無回答

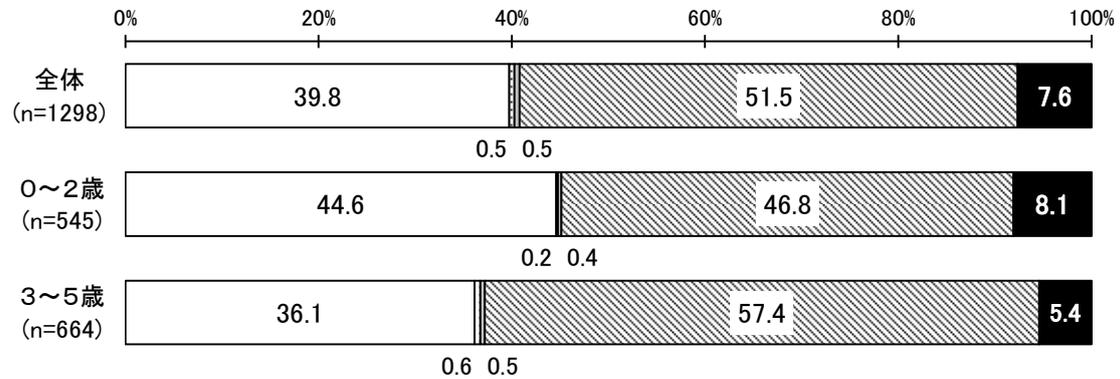


(3)子育て短期支援事業

全体では「利用は希望しない」の割合が51.5%で最も高く、次いで「利用していないが、新たに利用したい」(39.8%)、「すでに利用しており、利用日数を増やしたい」「すでに利用しており、利用日数を維持したい」(同率0.5%)の順となっています。

- 利用していないが、新たに利用したい すでに利用しており、利用日数を増やしたい
 すでに利用しており、利用日数を維持したい 利用は希望しない

■ 無回答

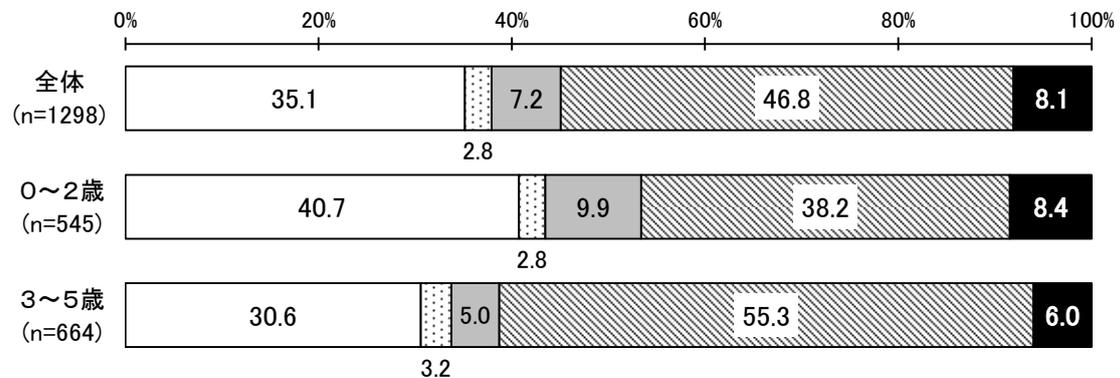


(4)地域子育て支援拠点事業

全体では「利用は希望しない」の割合が46.8%で最も高く、次いで「利用していないが、新たに利用したい」(35.1%)、「すでに利用しており、利用日数を維持したい」(7.2%)などの順となっています。

- 利用していないが、新たに利用したい すでに利用しており、利用日数を増やしたい
 すでに利用しており、利用日数を維持したい 利用は希望しない

■ 無回答

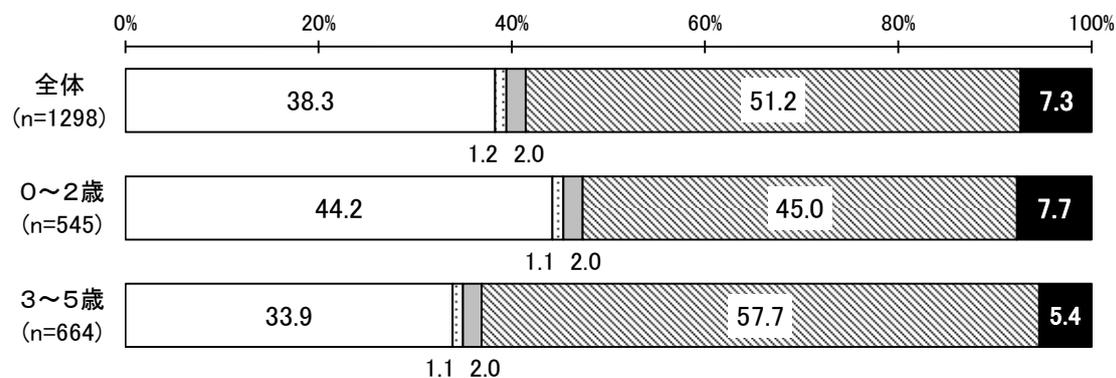


(5)子育て援助活動支援事業

全体では「利用は希望しない」の割合が51.2%で最も高く、次いで「利用していないが、新たに利用したい」(38.3%)、「すでに利用しており、利用日数を維持したい」(2.0%)などの順となっています。

- 利用していないが、新たに利用したい
- すでに利用しており、利用日数を増やしたい
- すでに利用しており、利用日数を維持したい
- 利用は希望しない

■ 無回答

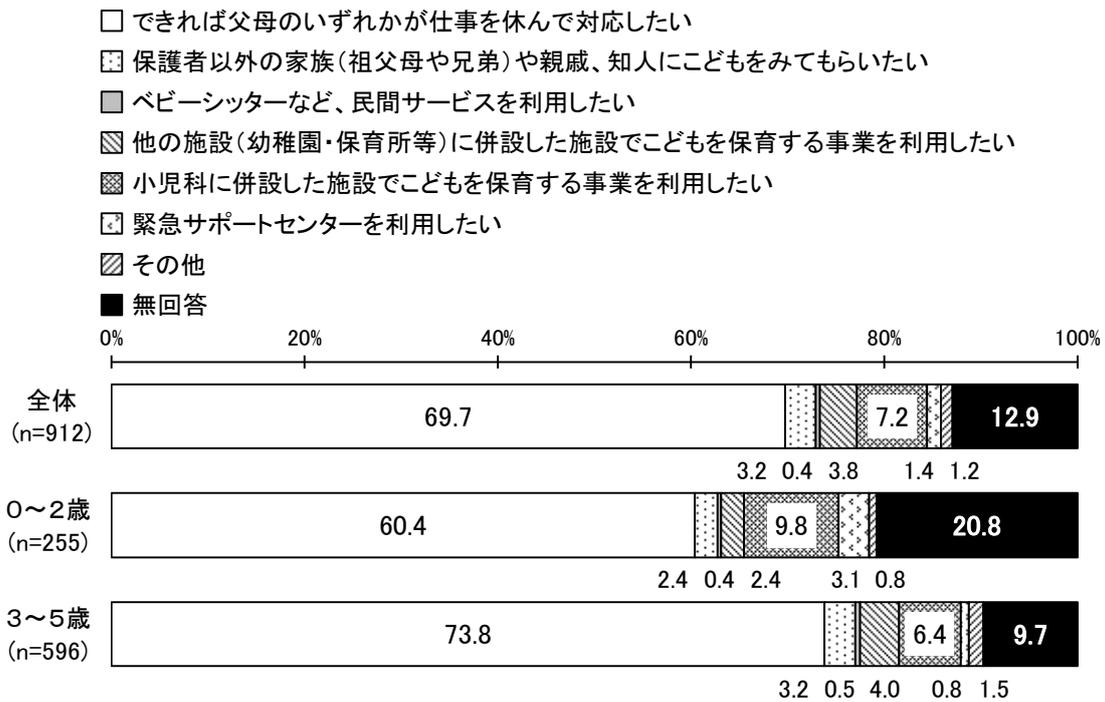


2-5 病気の際の対応

①こどもが病時に希望する対応

宛名のお子さんが保育所・幼稚園・認定こども園に通園（所）されている方にうかがいます。
 問14 宛名のお子さんが病気やけがの際、どのように対応することを希望しますか。

全体では「できれば父母のいずれかが仕事を休んで対応したい」の割合が69.7%で最も高く、次いで「小児科に併設した施設でこどもを保育する事業を利用したい」(7.2%)、「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設でこどもを保育する事業を利用したい」(3.8%)などの順となっています。

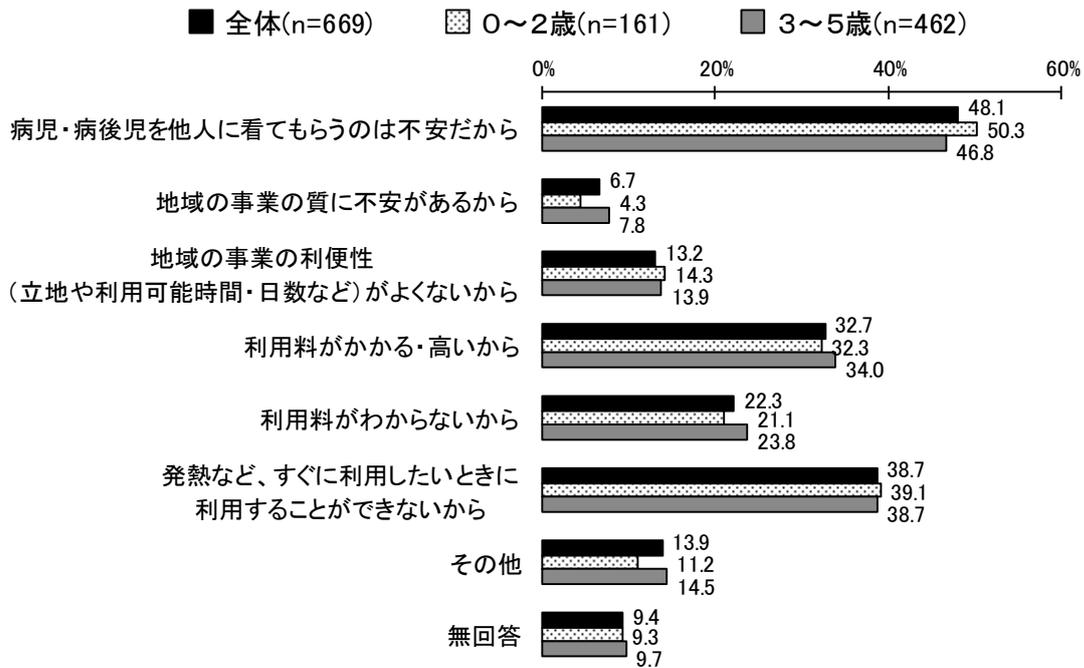


②病児・病後児保育事業の利用を希望しない理由

問14で「できれば父母のいずれかが仕事を休んで対応したい」「保護者以外の家族（祖父母や兄弟）や親戚、知人に子どもをみてもらいたい」「ベビーシッターなど、民間サービスを利用したい」を選んだ方にうかがいます。

問14-1 病児・病後児のための事業等の利用を希望しない理由は何ですか。【複数回答】

全体では「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安だから」の割合が48.1%で最も高く、次いで「発熱など、すぐに利用したいときに利用することができないから」(38.7%)、「利用料がかかる・高いから」(32.7%)などの順となっています。



③病児・病後児保育事業の利用希望

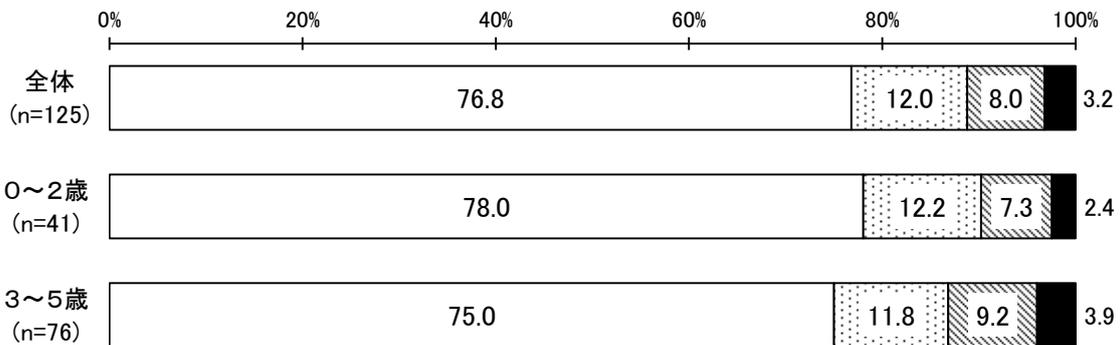
問14で「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設でこどもを保育する事業を利用したい」「小児科に併設した施設でこどもを保育する事業を利用したい」「緊急サポートセンターを利用したい」「その他」を選んだ方にうかがいます。

問14-2 病児・病後児のための事業等の今後の利用希望についてお答えください。

全体では「今まで利用したことはなかったが、必要であれば新たに利用してみたい」の割合が76.8%で最も高く、次いで「今までに利用したことがあり、必要であれば利用を継続したい」（12.0%）、「今までに利用したことはなく、今後も利用しないと思う」（8.0%）などの順となっています。

選択肢は異なりますが、病児・病後児の保育事業を利用したいと思わない割合（「今までに利用したことがあるが、今後は利用しないと思う」と「今までに利用したことはなく、今後も利用しないと思う」の合計）は8.0%で、前回調査（64.4%）より56.4ポイント減少しています。

- 今まで利用したことはなかったが、必要であれば新たに利用してみたい
- 今までに利用したことがあり、必要であれば利用を継続したい
- 今までに利用したことがあるが、今後は利用しないと思う
- 今までに利用したことはなく、今後も利用しないと思う
- 無回答

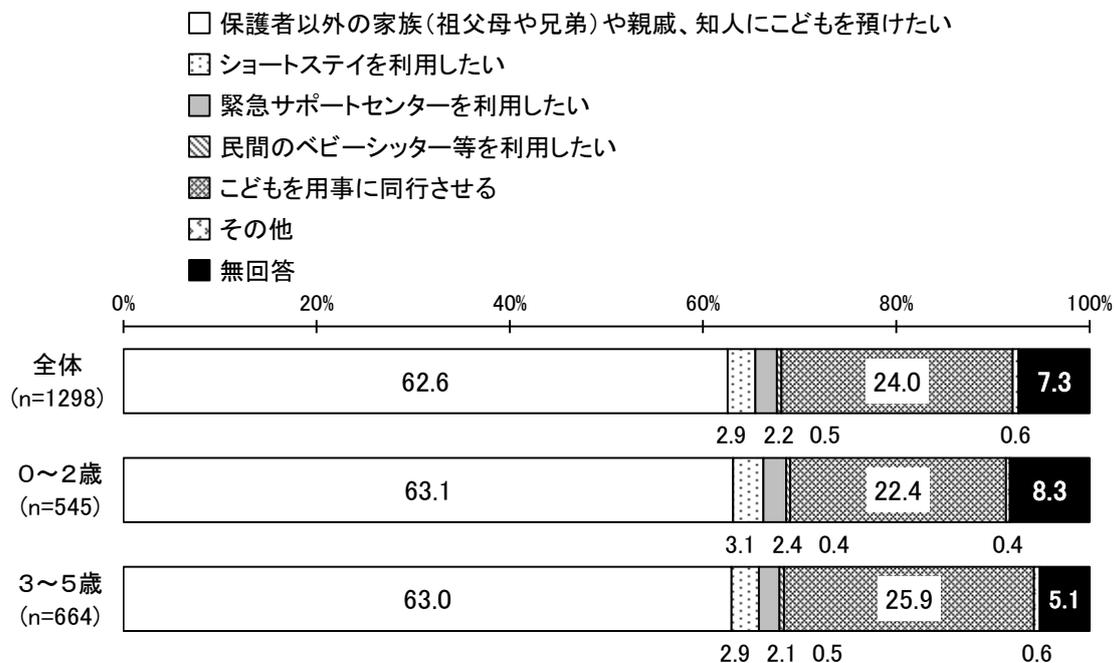


2-6 こどもの宿泊を伴う事業の利用

①こどもを泊まりがけで預ける際に希望する対応

問15 今後、保護者の用事（冠婚葬祭や家族の育児疲れ、病気等）の際に、お子さんを泊まりがけでみてもらう必要がある場合、どのように対応することを希望しますか。

全体では「保護者以外の家族（祖父母や兄弟）や親戚、知人にこどもを預けたい」の割合が62.6%で最も高く、次いで「こどもを用事に同行させる」（24.0%）、「ショートステイを利用したい」（2.9%）などの順となっています。



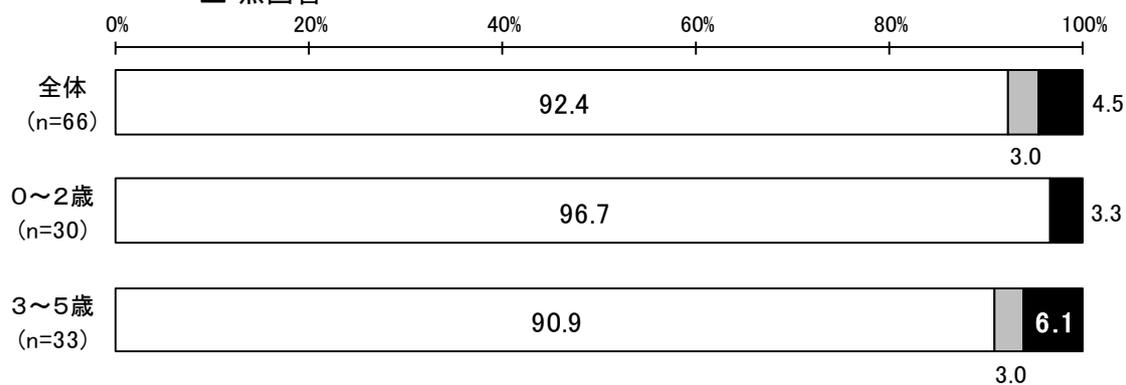
②宿泊を伴う保育事業の利用希望

問15で「ショートステイを利用したい」「緊急サポートセンターを利用したい」を選んだ方にうかがいます。

問15-1 保護者の用事の際の、宿泊を伴う一時預かり等の今後の利用希望についてお答えください。

全体では「現在は利用していないが、新たに利用を開始したい」の割合が92.4%で最も高く、次いで「利用したことがあり、これまで以上に利用日数を増やしたい」(3.0%)の順となっています。

- 現在は利用していないが、新たに利用を開始したい
- 利用したことがあり、利用日数は維持したい
- 利用したことがあり、これまで以上に利用日数を増やしたい
- 無回答



2-7 小学校就学後の放課後の過ごし方

下記問 16・問 16-1の小学校就学後の放課後の過ごし方の設問については、令和6年4月に小学校入学予定の方を対象としているため、就学児童調査の問 12・問 12-1において小学1年生の保護者の方の回答のみを集計し、参考値として表記いたします。

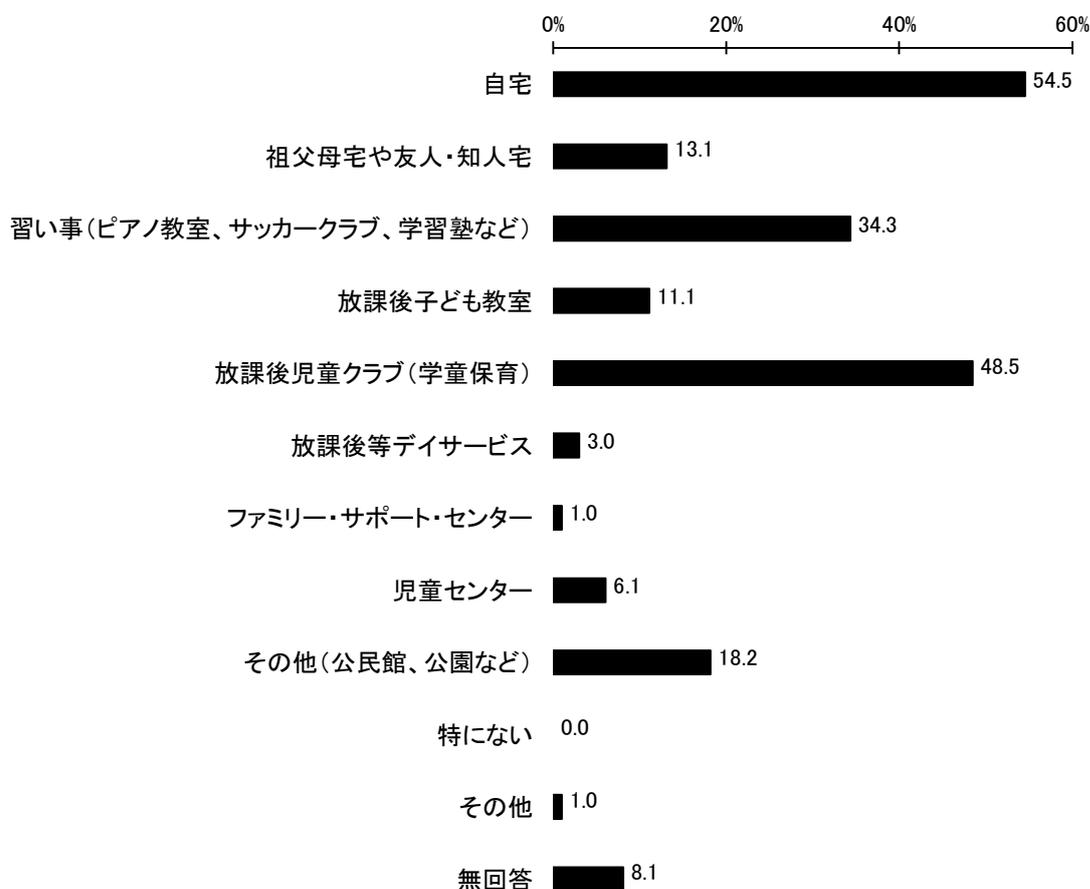
①小学校低学年の間で放課後過ごさせたい場所

宛名のお子さんが令和6年4月に小学校に入学予定である方にうかがいます。

問16 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の内は、平日の学校終了後（放課後）にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

全体では「自宅」の割合が54.5%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（48.5%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（34.3%）などの順となっています。

■ 全体(n=99)



※放課後子ども教室・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無にかかわらず、全ての小学生が利用できます。

※放課後等デイサービス・・・学校に就学している障がいのあるお子さんを対象に、放課後や学校が休みの日に、創作活動や余暇活動などのプログラムを通じて、日常生活動作の習得や集団生活への適応に向けた支援を行うものです。

※児童センター・・・18歳未満のこどもとその同伴者、児童の健全な育成を目的として活動している団体向けに、市内3か所に設置されています。

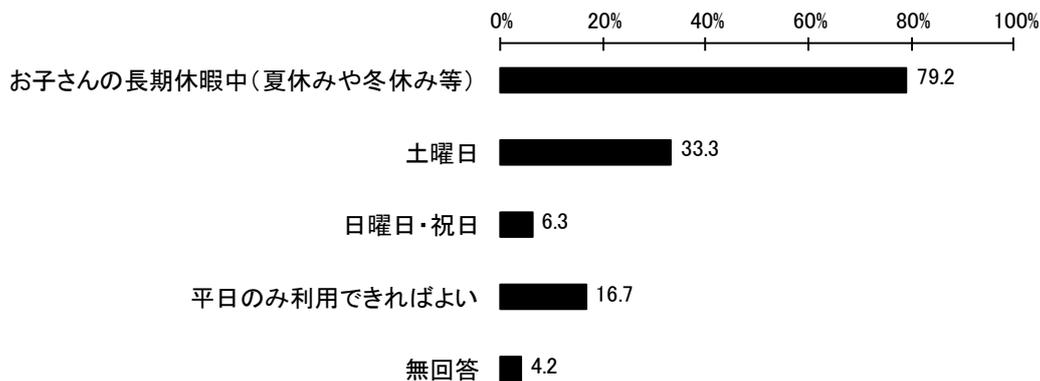
②小学校低学年の間で休業日での放課後児童クラブの利用希望

問16で「放課後児童クラブ(学童保育)」を選んだ方にうかがいます。

問16-1 宛名のお子さんが低学年(1~3年生)のとき、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。【複数回答】

全体では「お子さんの長期の休暇期間中(夏休みや冬休み等)」の割合が79.2%で最も高く、次いで「土曜日」(33.3%)、「平日のみ利用できればよい」(16.7%)の順となっています。

■ 全体(n=48)

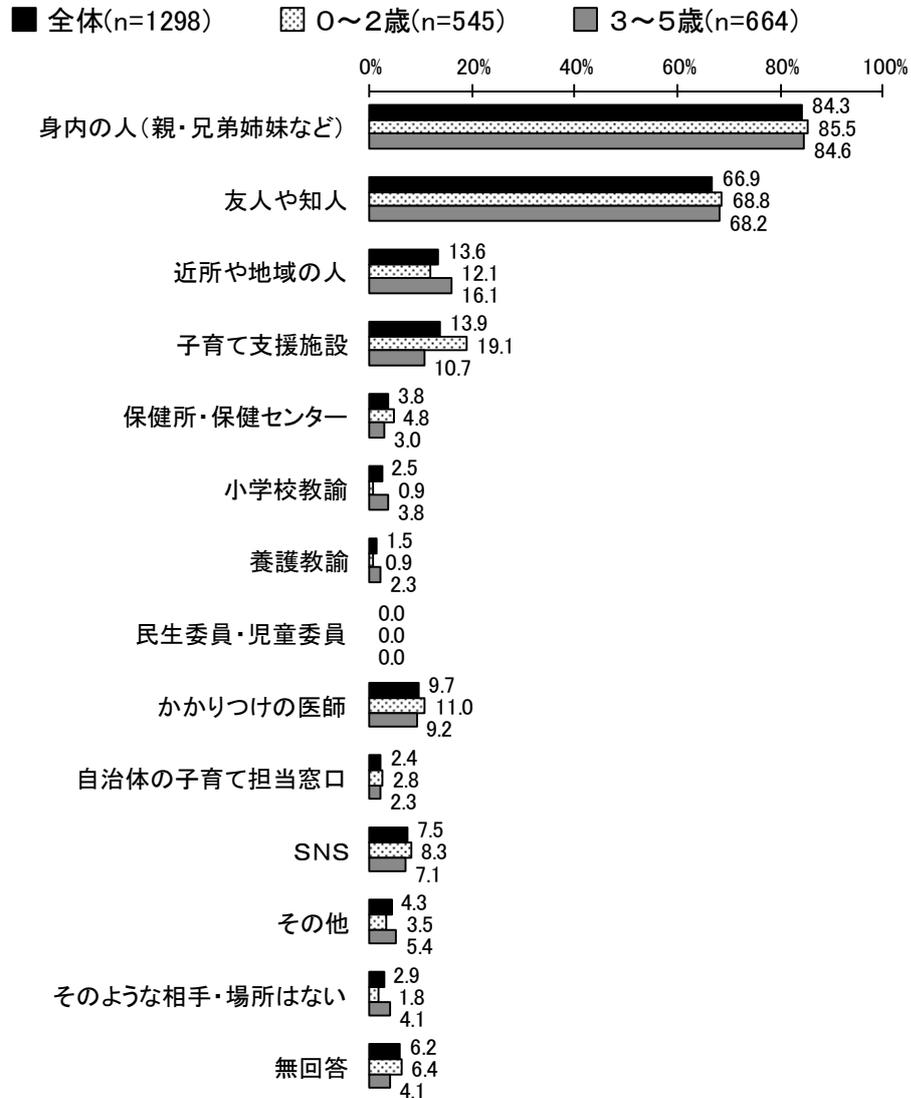


2-8 こどもの育ちを巡る環境

①子育ての相談相手

問17 日頃、こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手（場所）は誰（どこ）ですか。【複数回答】

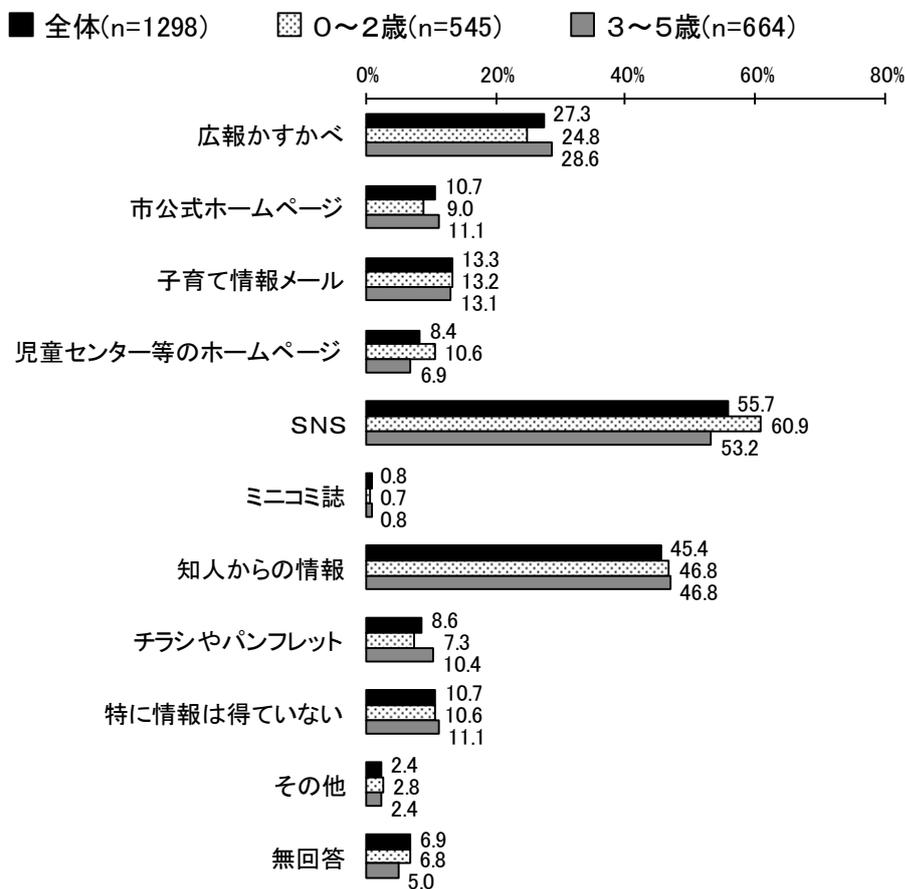
全体では「身内の人（親・兄弟姉妹など）」の割合が84.3%で最も高く、次いで「友人や知人」（66.9%）、「子育て支援施設」（13.9%）などの順となっています。



②子育てに関する情報源

問18 あなたは、日頃子育てに関する情報を、何から得ていますか。【複数回答】

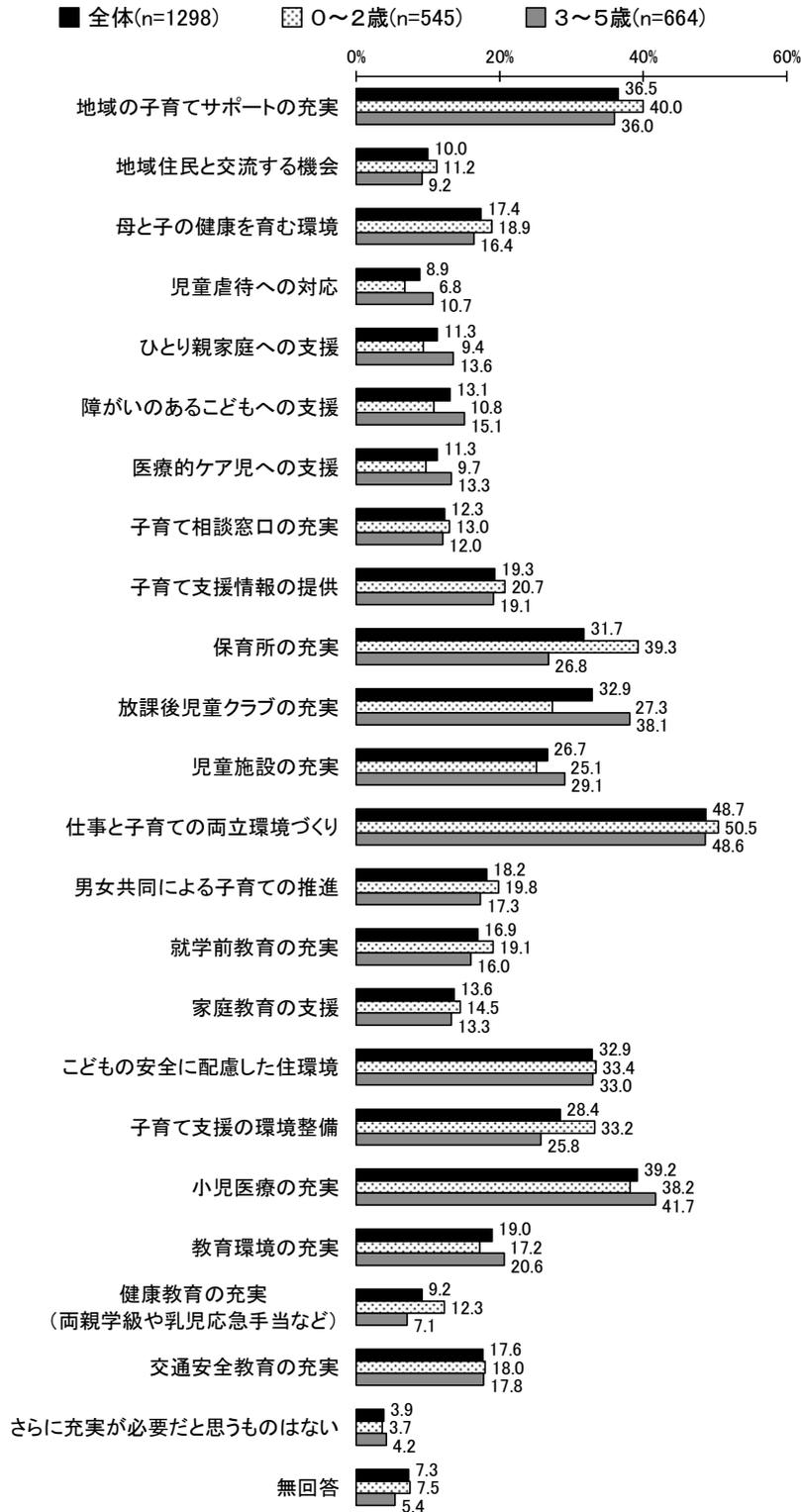
全体では「SNS」の割合が55.7%で最も高く、次いで「知人からの情報」(45.4%)、「広報かすかべ」(27.3%)などの順となっています。前回調査より「広報かすかべ」(前回48.8%)、「チラシやパンフレット」(前回18.7%)はそれぞれ21.5ポイント、10.1ポイント減少し、「SNS」(前回33.2%)は22.5ポイント増加しています。



③子育て環境で充実が必要なもの

問19 春日部市の子育て環境について、現在よりも、さらに充実が必要だと感じるものがありますか。【複数回答】

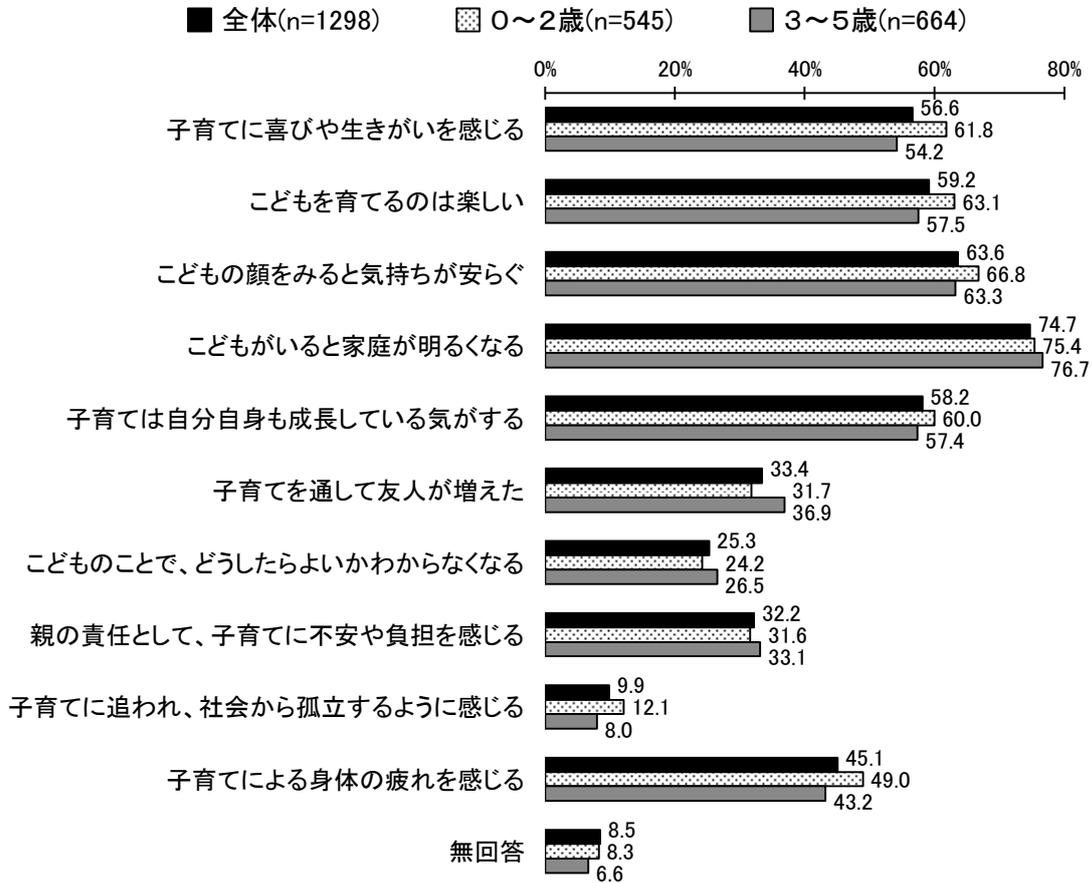
全体では「仕事と子育ての両立環境づくり」の割合が48.7%で最も高く、次いで「小児医療の充実」(39.2%)、「地域の子育てサポートの充実」(36.5%)などの順となっています。



④子育てに感じること

問20 あなたは子育てについて、どのように感じますか。【複数回答】

全体では「子どもがいると家庭が明るくなる」の割合が74.7%で最も高く、次いで「子どもの顔をみると気持ちが安らぐ」(63.6%)、「子どもを育てるのは楽しい」(59.2%)などの順となっています。

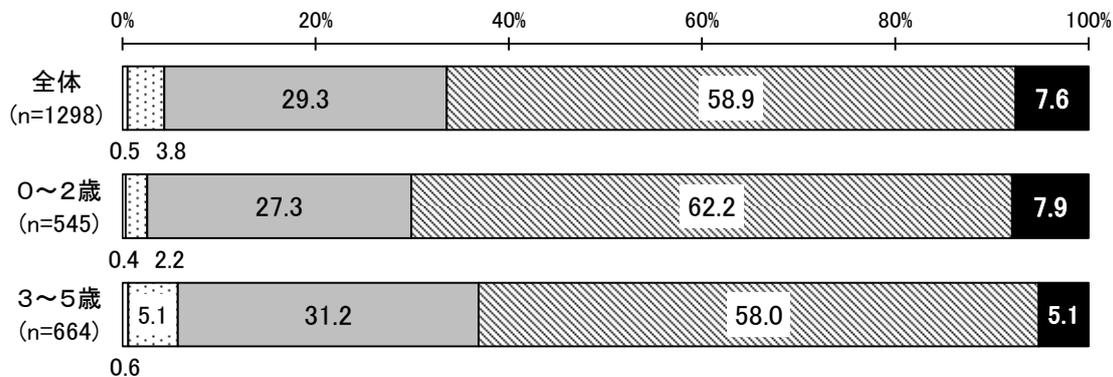


⑤「子ども基本法」についての認知

問21 新しい法律「子ども基本法」について聞いたことがありますか。

全体では「聞いたことはない」の割合が58.9%で最も高く、次いで「聞いたことがある」(29.3%)、「知っている」(3.8%)などの順となっています。

□ ぐわしく知っている ▨ 知っている ■ 聞いたことがある ▩ 聞いたことはない ■ 無回答



3 就学児童保護者アンケート調査結果

3-1 子育て家庭の状況

①小学校区

問1 お住まいの小学校区をお答えください。

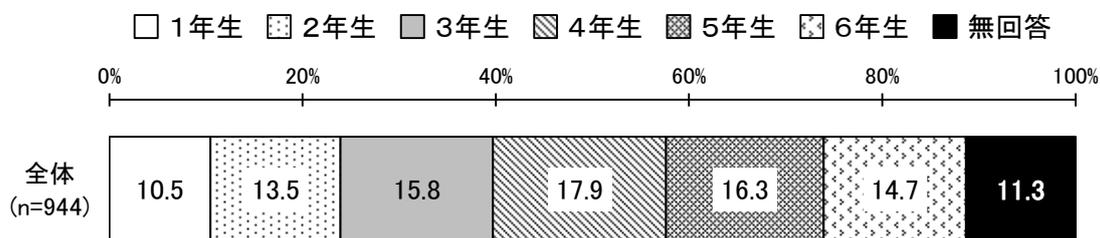
全体では「上沖小学校」の割合が7.5%で最も高く、次いで「粕壁小学校」(7.4%)、「八木崎小学校」(7.2%)などの順となっています。

小学校区	全体 (n=944)	1～3年生 (n=375)	4～6年生 (n=462)
粕壁小学校	7.4%	6.1%	7.8%
内牧小学校	4.4%	5.1%	4.1%
豊春小学校	5.4%	5.1%	5.2%
武里小学校	5.4%	6.1%	5.0%
幸松小学校	5.2%	4.0%	5.8%
豊野小学校	3.3%	3.7%	3.0%
備後小学校	1.9%	1.3%	2.6%
八木崎小学校	7.2%	9.6%	6.7%
牛島小学校	4.6%	4.3%	4.5%
緑小学校	3.3%	2.9%	3.5%
上沖小学校	7.5%	7.2%	8.0%
正善小学校	4.2%	4.0%	4.3%
立野小学校	5.1%	4.8%	5.8%
宮川小学校	1.2%	0.8%	1.3%
藤塚小学校	3.3%	4.3%	2.4%
小淵小学校	3.1%	2.9%	3.7%
武里南小学校	2.6%	3.7%	1.9%
武里西小学校	4.6%	4.5%	4.5%
南桜井小学校	3.2%	2.7%	2.6%
川辺小学校	3.4%	2.9%	3.7%
桜川小学校	6.4%	6.4%	6.7%
中野小学校	3.6%	3.5%	3.5%
江戸川小中学校	2.0%	2.1%	1.9%
無回答	1.8%	1.9%	1.3%

②こどもの学年

問2 宛名のお子さんの生年月（和暦）をお答えください。

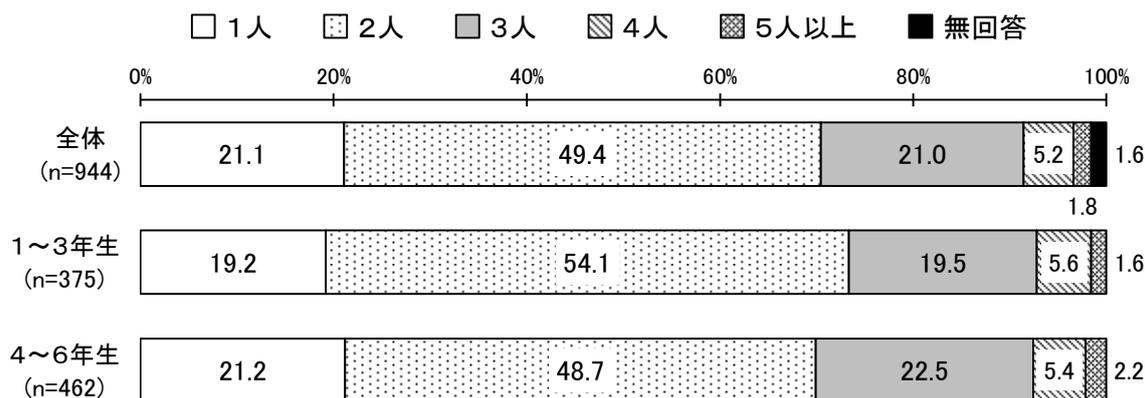
全体では「4年生」の割合が17.9%で最も高く、次いで「5年生」（16.3%）、「3年生」（15.8%）などの順となっています。



③きょうだいの人数

問3 宛名のお子さんのきょうだいの数（宛名のお子さんを含めた人数）をお答えください。

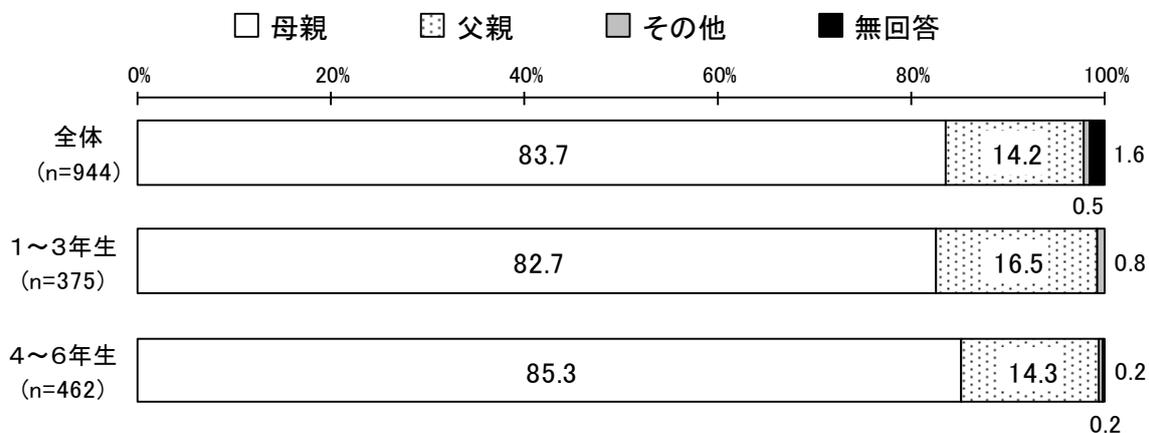
全体では「2人」の割合が49.4%で最も高く、次いで「1人」（21.1%）、「3人」（21.0%）などの順となっています。



④回答者

問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。

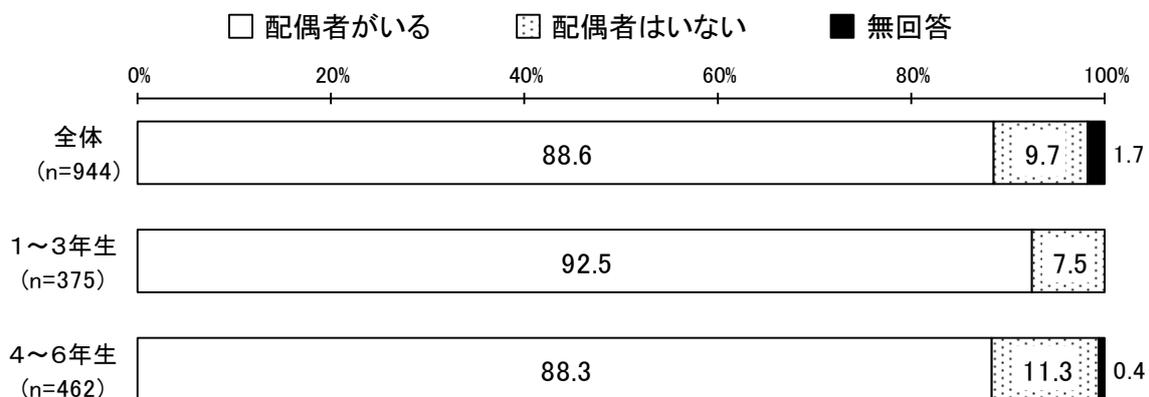
全体では「母親」の割合が83.7%で最も高く、次いで「父親」(14.2%)、「その他」(0.5%)の順となっています。



⑤回答者の配偶関係

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

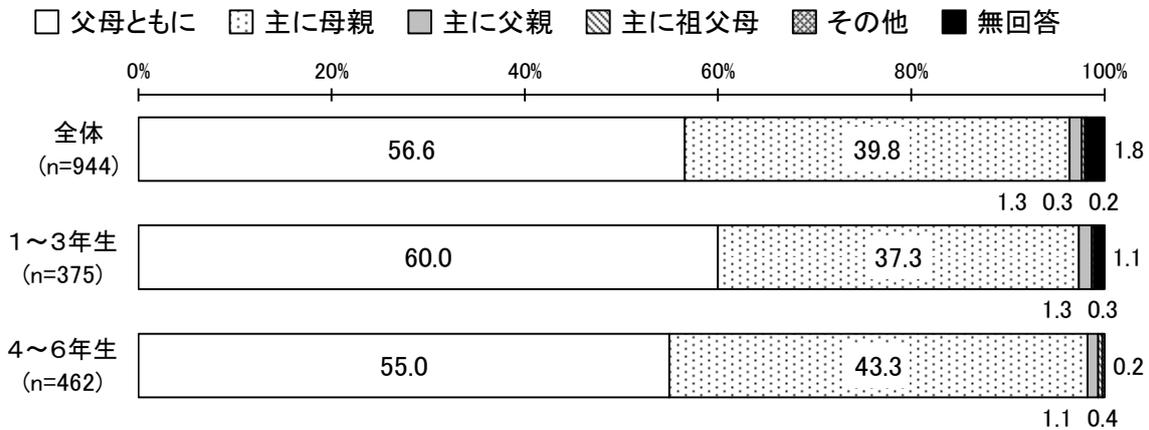
全体では「配偶者がいる」の割合が88.6%で、「配偶者がいない」(9.7%)となっています。



⑥育児者

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。

全体では「父母ともに」の割合が56.6%で最も高く、次いで「主に母親」（39.8%）、「主に父親」（1.3%）などの順となっています。

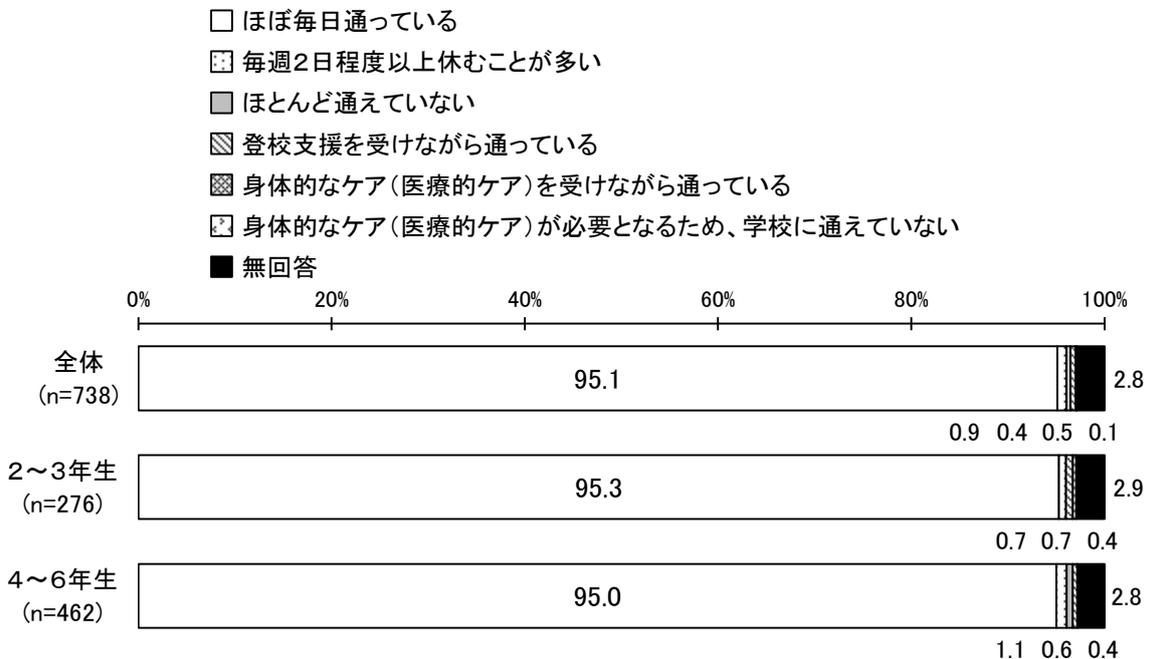


⑦過去1年間のこどもの登校状況

宛名のお子さんが令和6年4月から新1年生になる方以外にうかがいます。

問7 宛名のお子さんの、学校（フリースクールを含む）への登校状況はどのような状況ですか。この1年間の状況をお答えください。

全体では「ほぼ毎日通っている」の割合が95.1%で最も高く、次いで「毎週2日程度以上休むことが多い」（0.9%）、「登校支援を受けながら通っている」（0.5%）などの順となっています。



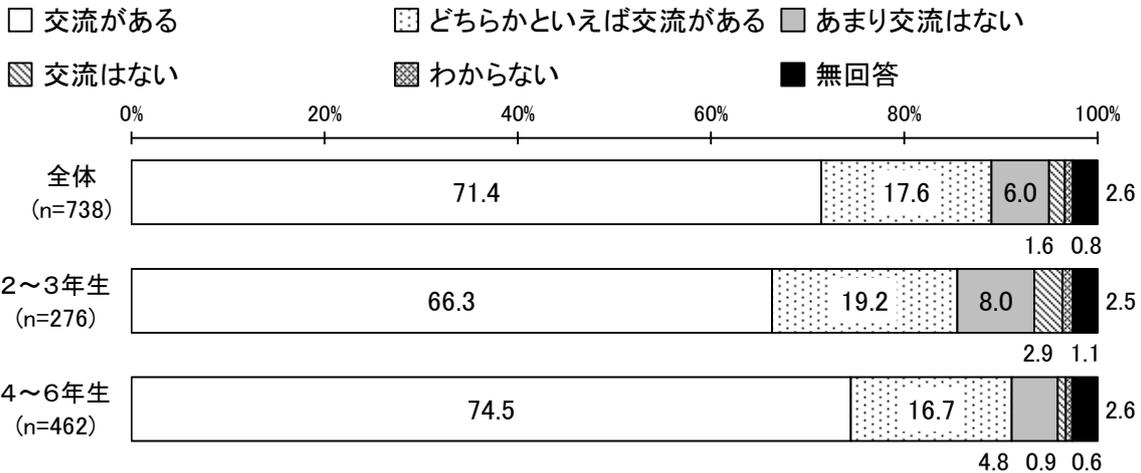
⑧過去1年間のこどもの交流

宛名のお子さんが令和6年4月から新1年生になる方以外にうかがいます。

問8 宛名のお子さんの、周囲の人との交流はどのような状況ですか。この1年間の状況をお答えください。

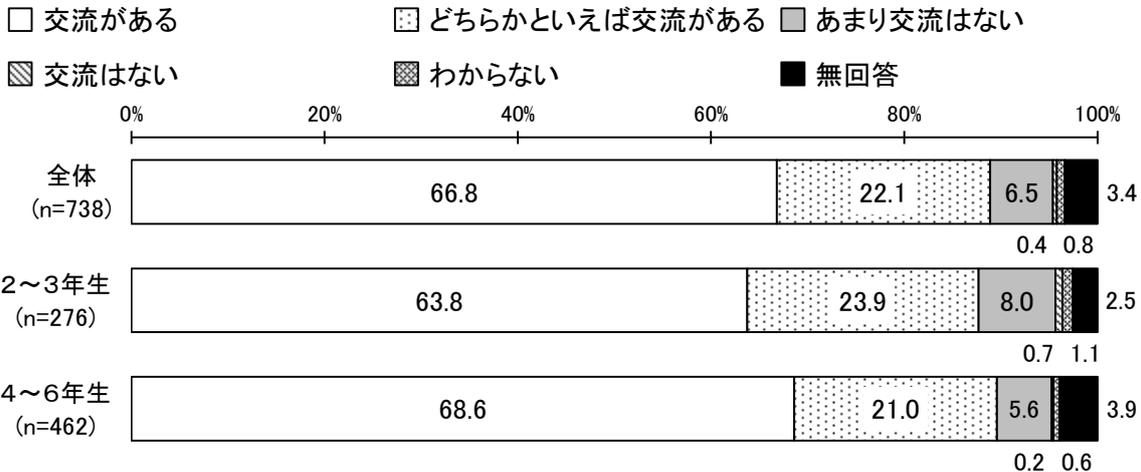
(1)友人

全体では「交流がある」の割合が71.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば交流がある」(17.6%)、「あまり交流はない」(6.0%)などの順となっています。



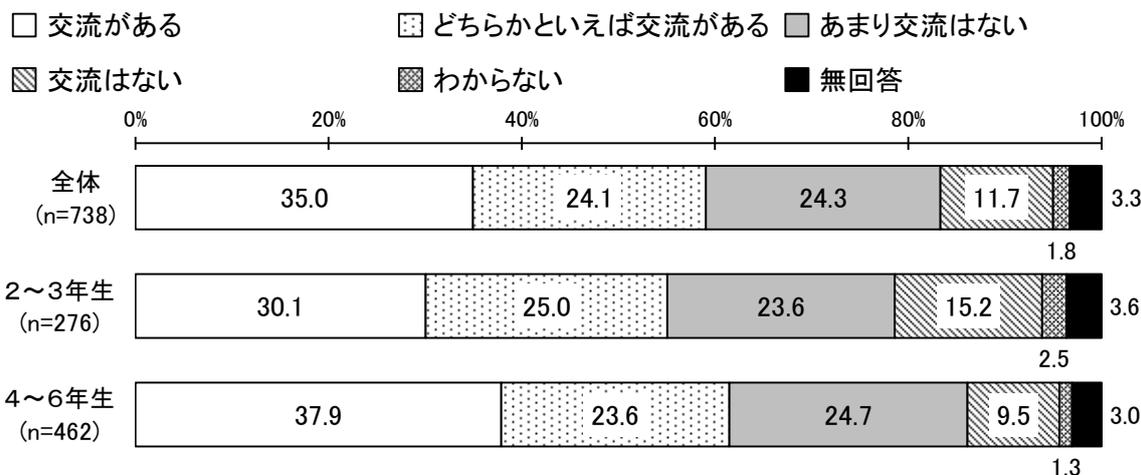
(2)学校の先生やクラスメイト

全体では「交流がある」の割合が66.8%で最も高く、次いで「どちらかといえば交流がある」(22.1%)、「あまり交流はない」(6.5%)などの順となっています。



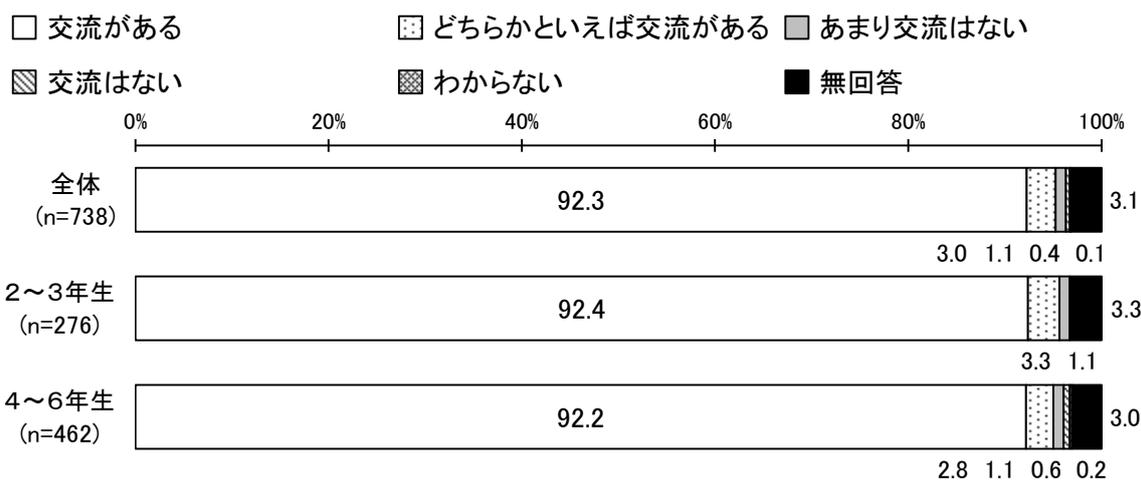
(3) 地域の人や部活・クラブ活動のメンバー

全体では「交流がある」の割合が35.0%で最も高く、次いで「あまり交流はない」(24.3%)、「どちらかといえば交流がある」(24.1%)などの順となっています。



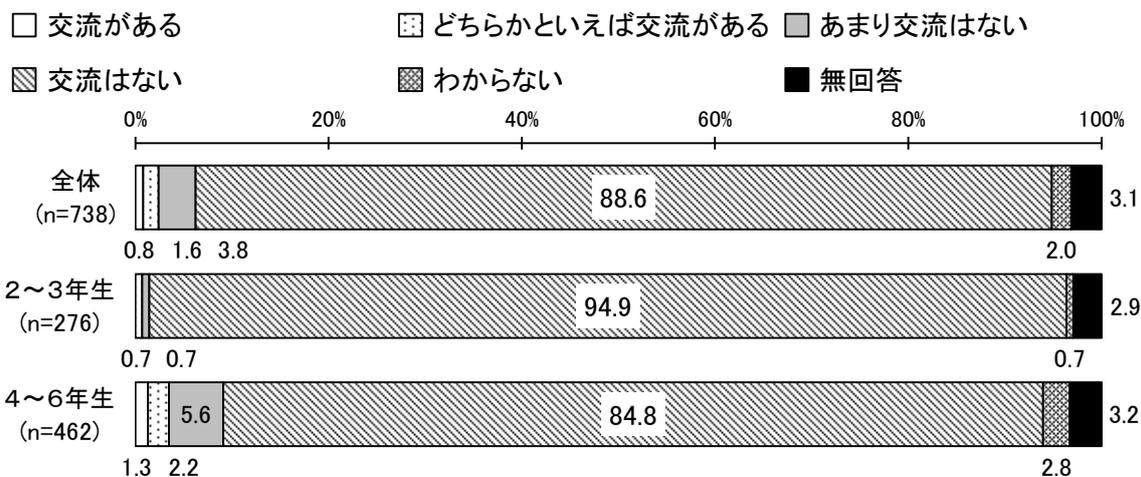
(4) 家族

全体では「交流がある」の割合が92.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば交流がある」(3.0%)、「あまり交流はない」(1.1%)などの順となっています。



(5)インターネット上で知り合った人

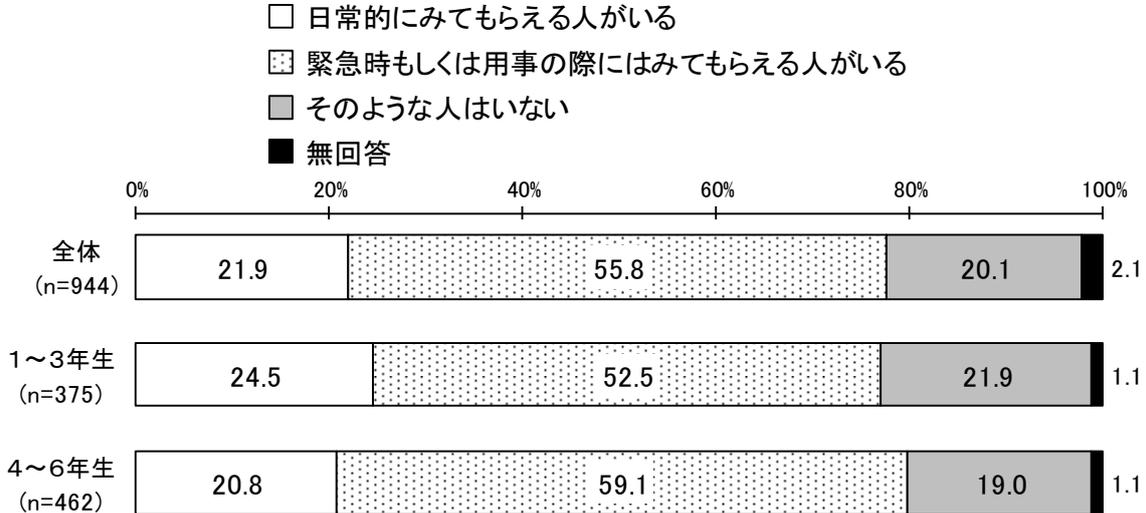
全体では「交流はない」の割合が88.6%で最も高く、次いで「あまり交流はない」(3.8%)、「わからない」(2.0%)などの順となっています。



⑨子どもをみてもらえる人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる人はいますか。

全体では「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる人がいる」の割合が55.8%で最も高く、次いで「日常的にみてもらえる人がいる」(21.9%)、「そのような人はいない」(20.1%)の順となっています。

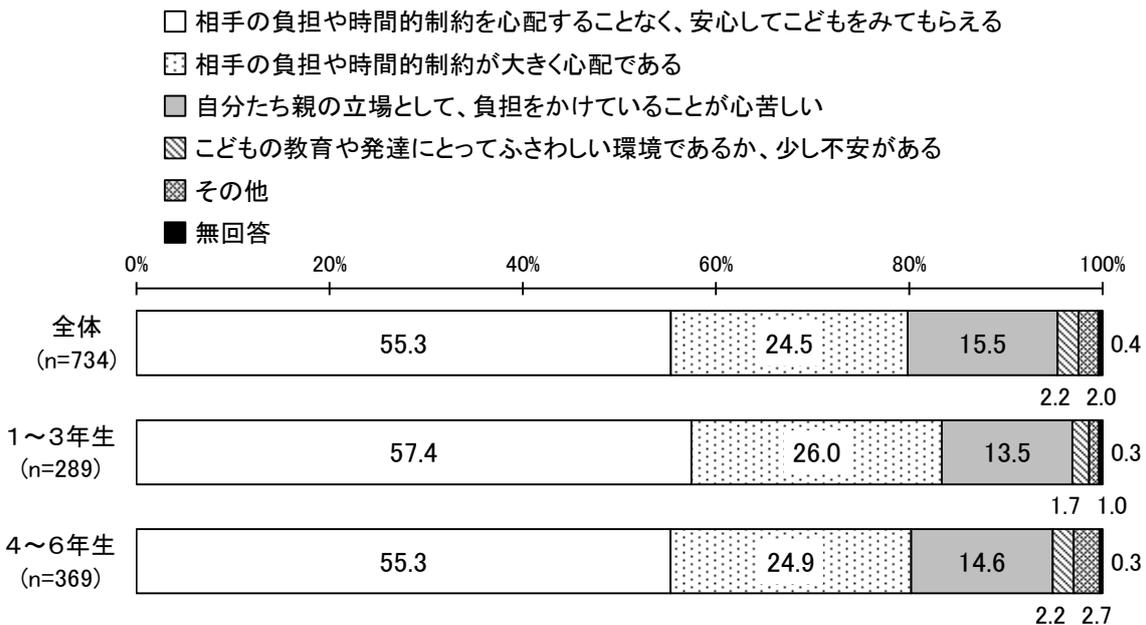


⑩子どもをみもらう状況

問9で「そのような人はいない」以外を選んだ方にかがいます。

問9-1 その人にお子さんをみもらっている状況についてお答えください。

全体では「相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が55.3%で最も高く、次いで「相手の負担や時間的制約が大きく心配である」(24.5%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(15.5%)などの順となっています。



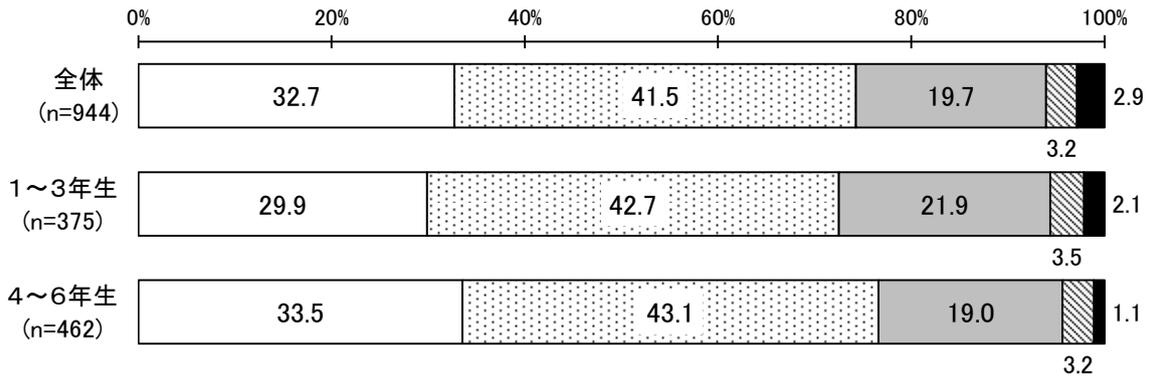
3-2 保護者の就労状況

①母親の就労形態

問10 就労形態についてお答えください。

全体では「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」の割合が41.5%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（32.7%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（19.7%）などの順となっています。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)
 以前は就労していたが、現在は就労していない
 これまでに就労したことがない
 無回答



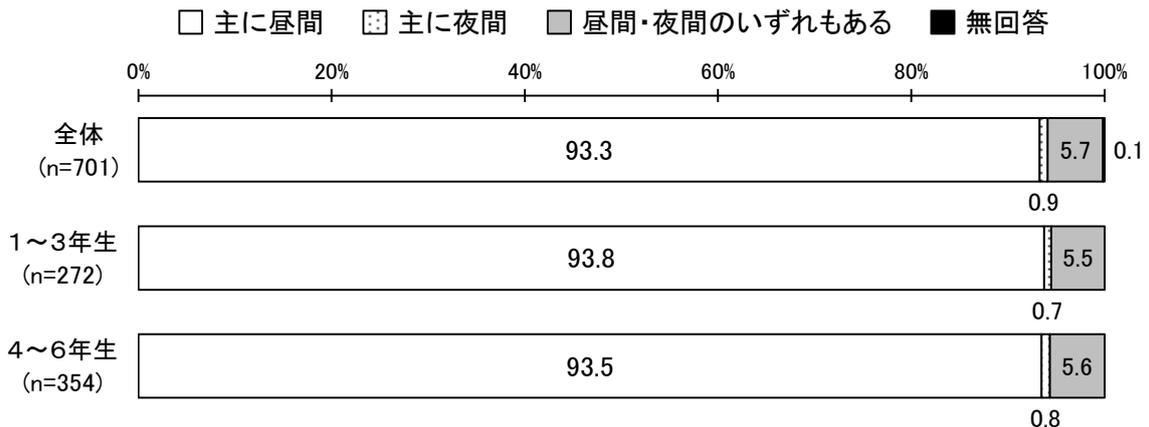
※「フルタイム」「パート・アルバイト等」は産休・育休・介護休業中を含みます。

②母親の就労時間帯

問10で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」を選んだ方にうかがいます。

問10-1 普段の就労時間帯について最も多いパターンをお答えください。

全体では「主に昼間」の割合が93.3%で最も高く、次いで「昼間・夜間のいずれもある」（5.7%）、「主に夜間」（0.9%）の順となっています。

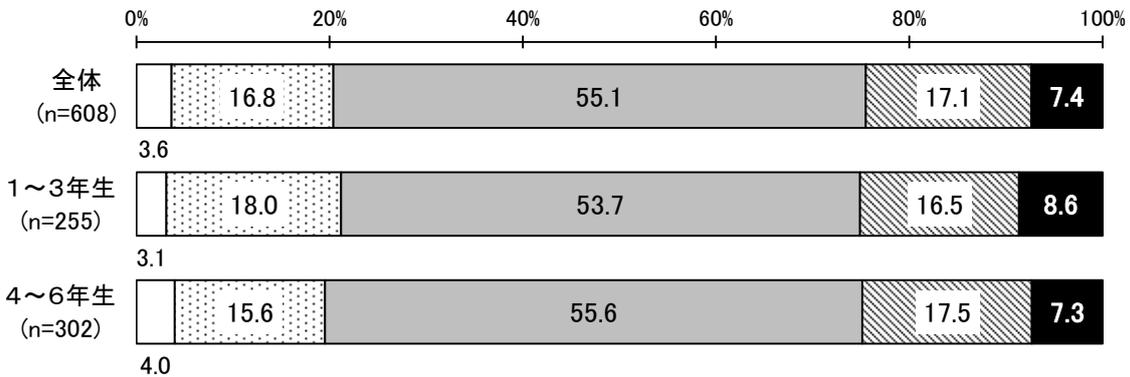


③母親の今後1年以内のフルタイム就労への転換希望

問10で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」以外を選んだ方にうかがいます。
 問10-2 今後1年以内にフルタイム就労への転換を希望されますか。

全体では「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合が55.1%で最も高く、次いで「今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい」（17.1%）、「フルタイムへの転換を希望しているが、実現できる見込みはない」（16.8%）の順となっています。

- フルタイムへの転換を希望しており、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換を希望しているが、実現できる見込みはない
- 今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する
- 今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい
- 無回答

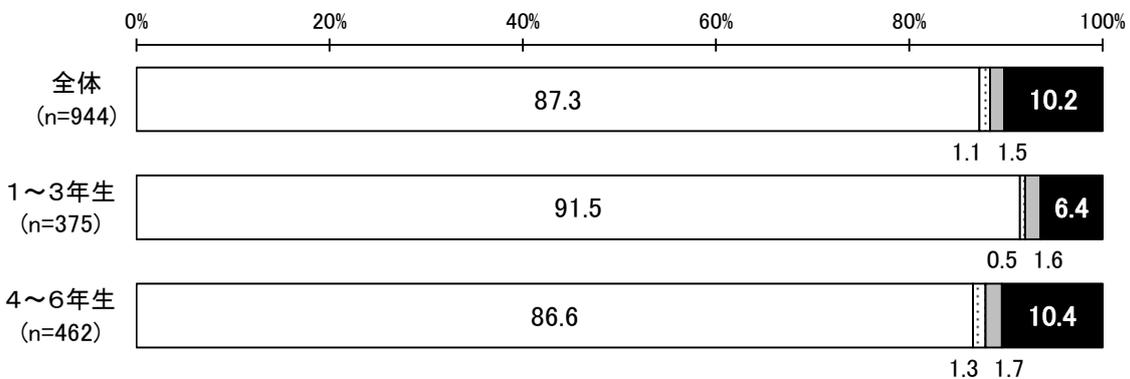


④父親の就労形態

問11 就労形態についてお答えください。

全体では「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が87.3%で最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」（1.5%）、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」（1.1%）などの順となっています。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまでに就労したことがない
- 無回答



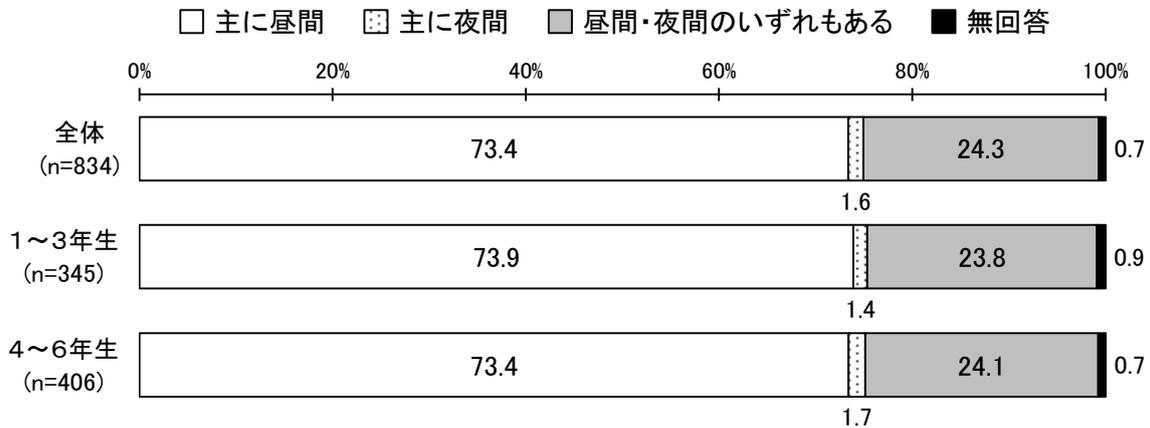
※「フルタイム」「パート・アルバイト等」は産休・育休・介護休業中を含みます。

⑤父親の就労時間帯

問11で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」を選んだ方にうかがいます。

問11-1 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。

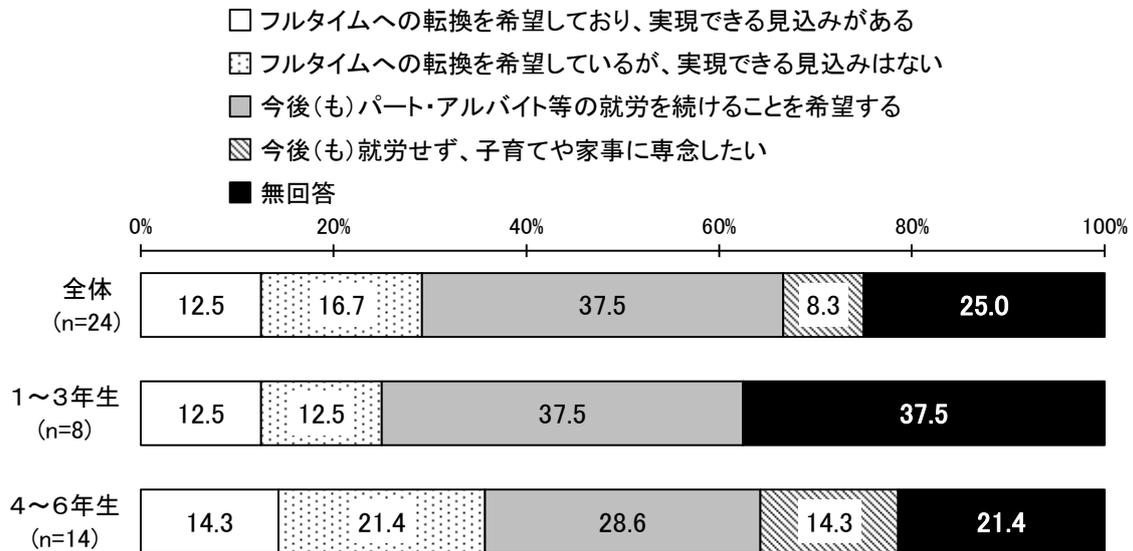
全体では「主に昼間」の割合が73.4%で最も高く、次いで「昼間・夜間のいずれもある」(24.3%)、「主に夜間」(1.6%)の順となっています。



⑥父親の今後1年以内のフルタイム就労への転換希望

問11で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」以外を選んだ方にうかがいます。
問11-2 今後1年以内にフルタイム就労への転換を希望されますか。

全体では「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合が37.5%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換を希望しているが、実現できる見込みはない」(16.7%)、「フルタイムへの転換を希望しており、実現できる見込みがある」(12.5%)などの順となっています。



3-3 放課後の過ごし方

①小学校低学年の間で放課後過ごさせたい場所

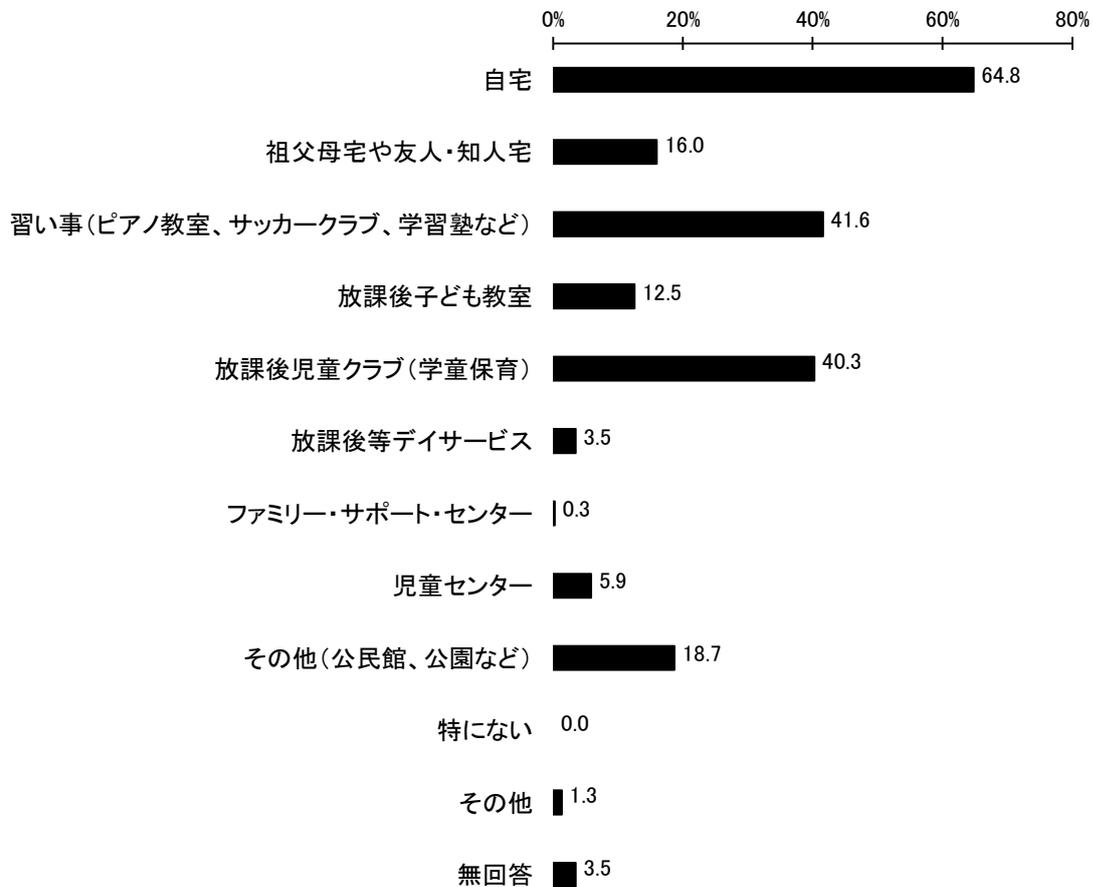
宛名のお子さんが低学年（1～3年生）の方にうかがいます。

問12 宛名のお子さんが低学年（1～3年生）のとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【複数回答】

全体では「自宅」の割合が64.8%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（41.6%）、「放課後児童クラブ（学童保育）」（40.3%）などの順となっています。

一部選択肢が異なりますが、前回調査より「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（前回65.1%）が23.5ポイント減少し、「放課後児童クラブ（学童保育）」（前回30.7%）が9.6ポイント増加しています。

■ 全体(n=375)

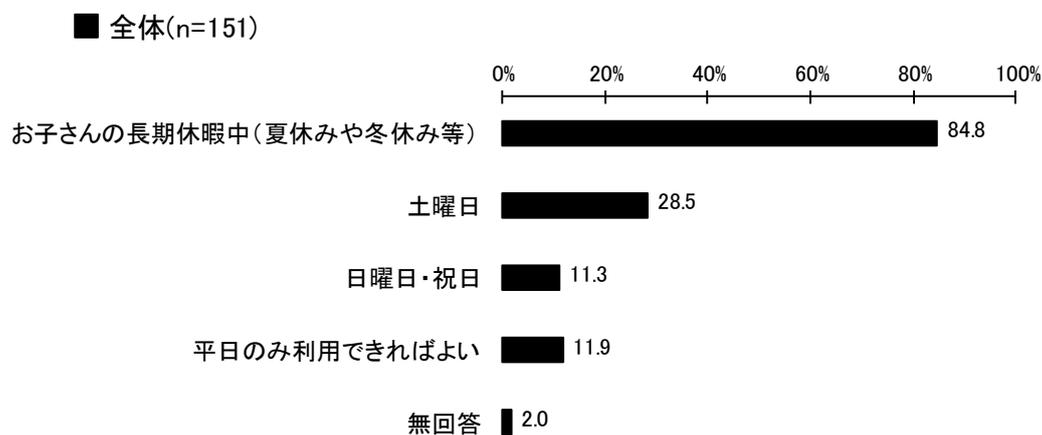


②小学校低学年の間で休業日での放課後児童クラブの利用希望

問12で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選んだ方にうかがいます。

問12-1 宛名のお子さんが低学年（1～3年生）のとき、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。【複数回答】

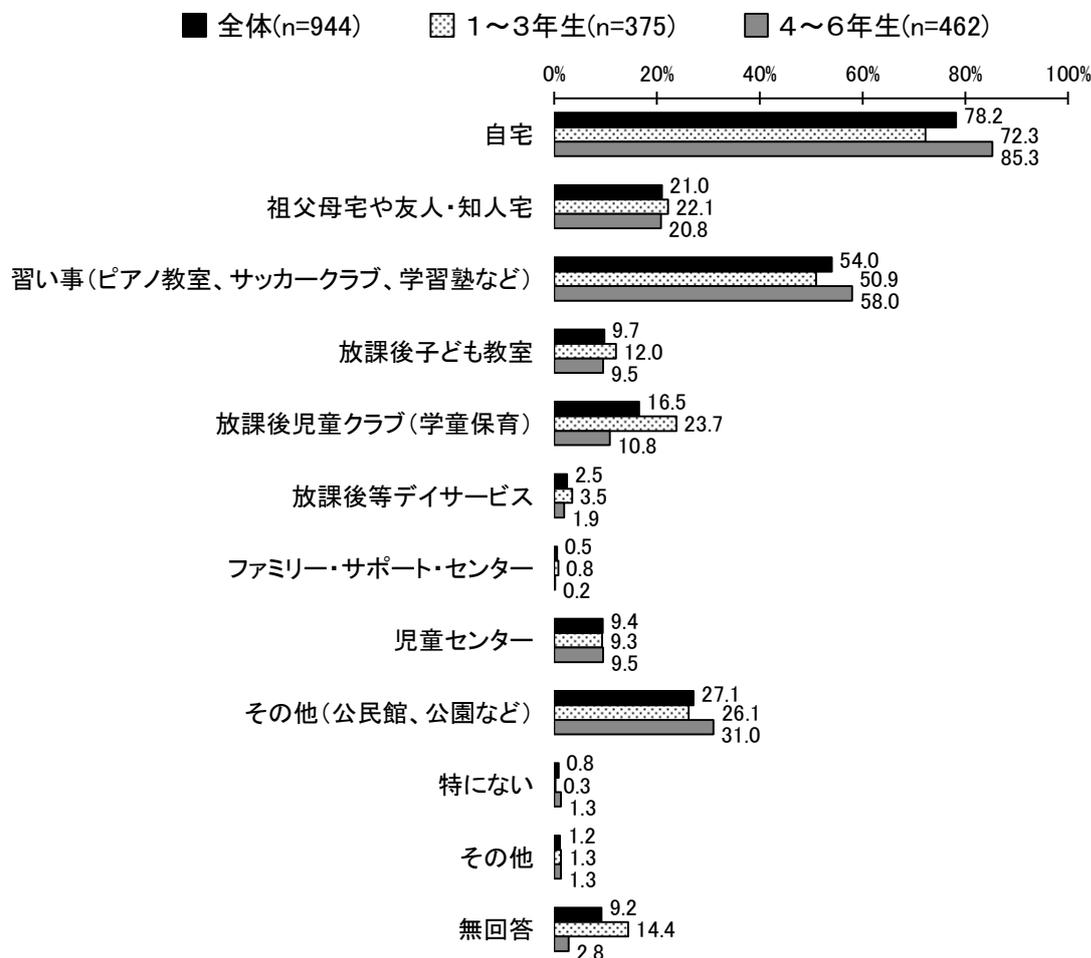
全体では「お子さんの長期休暇中（夏休みや冬休み等）」の割合が84.8%で最も高く、次いで「土曜日」（28.5%）、「平日のみ利用できればよい」（11.9%）などの順となっています。



③小学校高学年の間で放課後過ごさせたい場所

問13 宛名のお子さんが高学年（4～6年生）のとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【複数回答】

全体では「自宅」の割合が78.2%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（54.0%）、「その他（公民館、公園など）」（27.1%）などの順となっています。

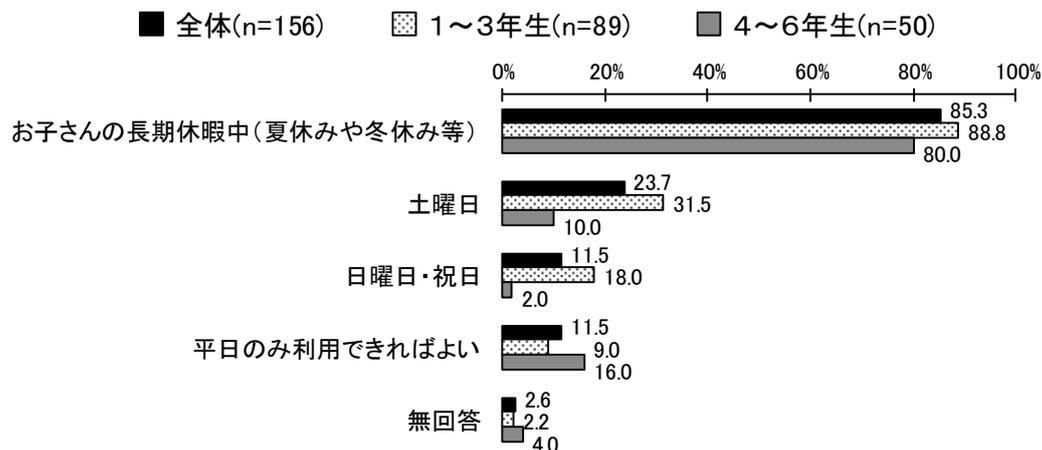


④小学校高学年の間で休業日での放課後児童クラブの利用希望

問13で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選んだ方にうかがいます。

問13-1 宛名のお子さんが高学年（4～6年生）のとき、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。【複数回答】

全体では「お子さんの長期休暇中（夏休みや冬休み等）」の割合が85.3%で最も高く、次いで「土曜日」（23.7%）、「日曜日・祝日」「平日のみ利用できればよい」（同率11.5%）の順となっています。



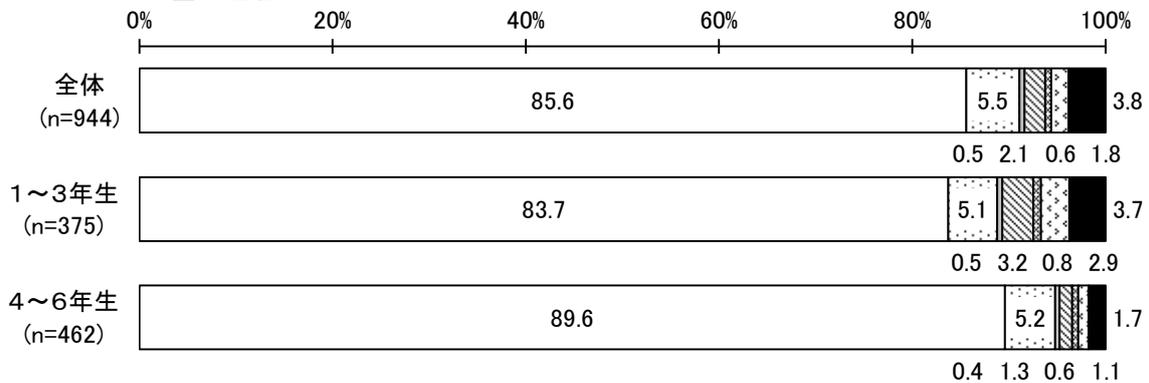
3-4 病気やけがの際の対応

①こどもが病時に希望する対応

問14 宛名のお子さんが、病気やけがで学校等に行くことができない場合に、どのような対応を希望しますか。

全体では「できれば父母のいずれかが仕事を休んで対応したい」の割合が85.6%で最も高く、次いで「保護者以外の家族（祖父母や兄弟）や親戚、知人に子どもをみてもらいたい」（5.5%）、「病後児の保育を利用したい（小学生まで利用可能）」（2.1%）などの順となっています。

- できれば父母のいずれかが仕事を休んで対応したい
- 保護者以外の家族（祖父母や兄弟）や親戚、知人に子どもをみてもらいたい
- ベビーシッターなど、民間サービスを利用したい
- 病後児の保育を利用したい（小学生まで利用可能）
- 緊急サポートセンターを利用したい
- その他
- 無回答

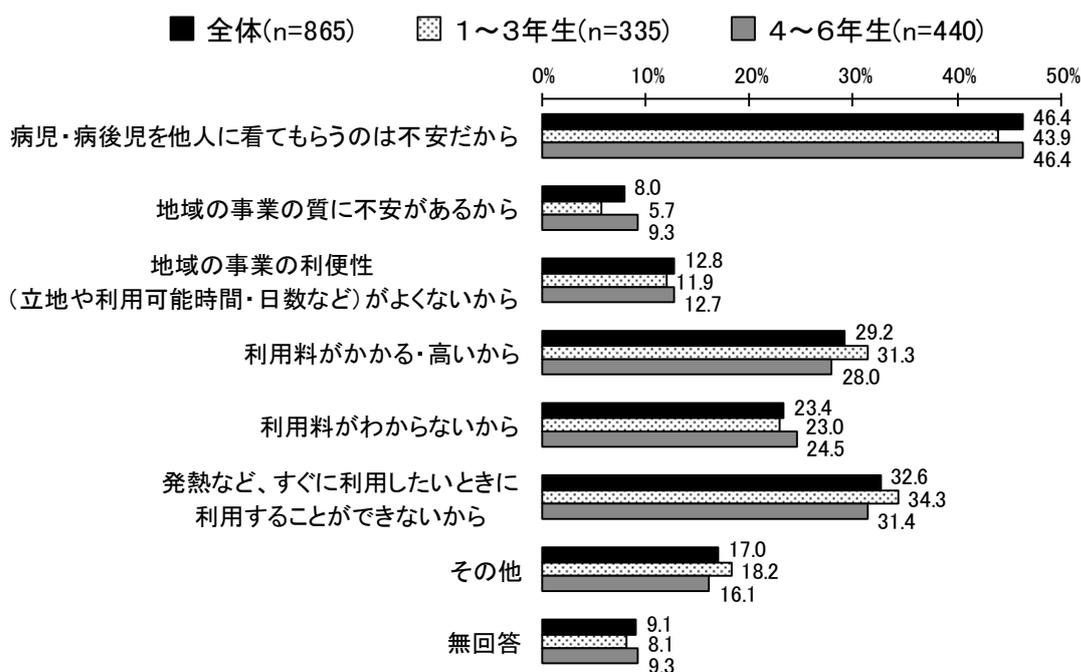


②病児・病後児保育事業の利用を希望しない理由

問14で「できれば父母のいずれかが仕事を休んで対応したい」「保護者以外の家族（祖父母や兄弟）や親戚、知人に子どもをみてもらいたい」「ベビーシッターなど、民間サービスを利用したい」を選んだ方にうかがいます。

問14-1 病児・病後児のための事業等の利用を希望しない理由は何ですか。【複数回答】

全体では「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安だから」の割合が46.4%で最も高く、次いで「発熱など、すぐに利用したいときに利用することができないから」（32.6%）、「利用料がかかる・高いから」（29.2%）などの順となっています。



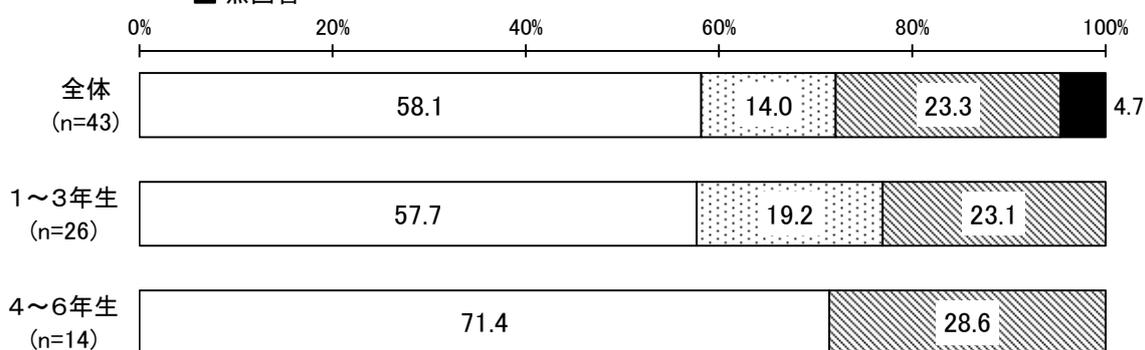
③病児・病後児保育事業の利用希望

問14で「病後児の保育を利用したい（小学生まで利用可能）」「緊急サポートセンターを利用したい」「その他」を選んだ方にうかがいます。

問14-2 病児・病後児のための事業等の今後の利用希望についてお答えください。

全体では「今まで利用したことはなかったが、必要であれば新たに利用してみたい」の割合が58.1%で最も高く、次いで「今までに利用したことはなく、今後も利用しないと思う」（23.3%）、「今までに利用したことがあるが、必要であれば利用を継続したい」（14.0%）などの順となっています。

- 今まで利用したことはなかったが、必要であれば新たに利用してみたい
- 今までに利用したことがあるが、必要であれば利用を継続したい
- 今までに利用したことがあるが、今後は利用しないと思う
- 今までに利用したことはなく、今後も利用しないと思う
- 無回答



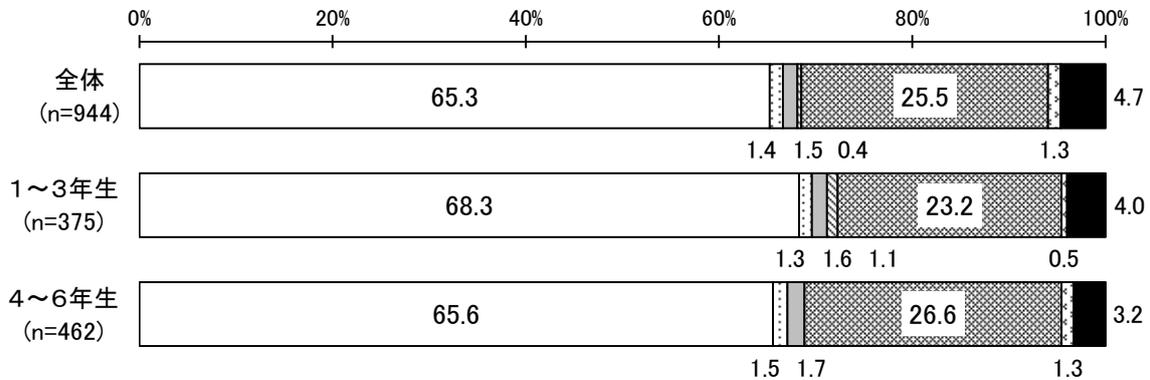
3-5 こどもの宿泊を伴う事業の利用

①こどもを泊まりがけで預ける際に希望する対応

問15 今後、保護者の用事（冠婚葬祭や家族の育児疲れ、病気等）の際に、お子さんを泊まりがけで預ける場合、どのように対応することを希望しますか。

全体では「保護者以外の家族（祖父母や兄弟）や親戚、知人に子どもを預けたい」の割合が65.3%で最も高く、次いで「子どもを用事に同行させる」（25.5%）、「緊急サポートセンターを利用したい」（1.5%）などの順となっています。

- 保護者以外の家族（祖父母や兄弟）や親戚、知人に子どもを預けたい
- ショートステイを利用したい
- 緊急サポートセンターを利用したい
- 民間のベビーシッター等を利用したい
- 子どもを用事に同行させる
- その他
- 無回答

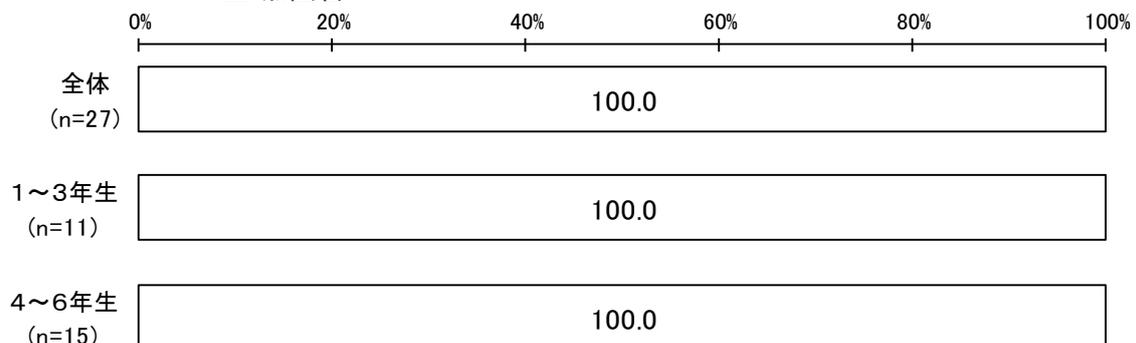


②宿泊を伴う保育事業の利用希望

問15で「ショートステイを利用したい」「緊急サポートセンターを利用したい」を選んだ方にうかがいます。

問15-1 保護者の用事の際の、宿泊を伴う一時預かり等の今後の希望についてお答えください。

- 現在は利用していないが、新たに利用を開始したい
- 利用したことがあり、利用日数は維持したい
- 利用したことがあり、これまで以上に利用日数を増やしたい
- 無回答

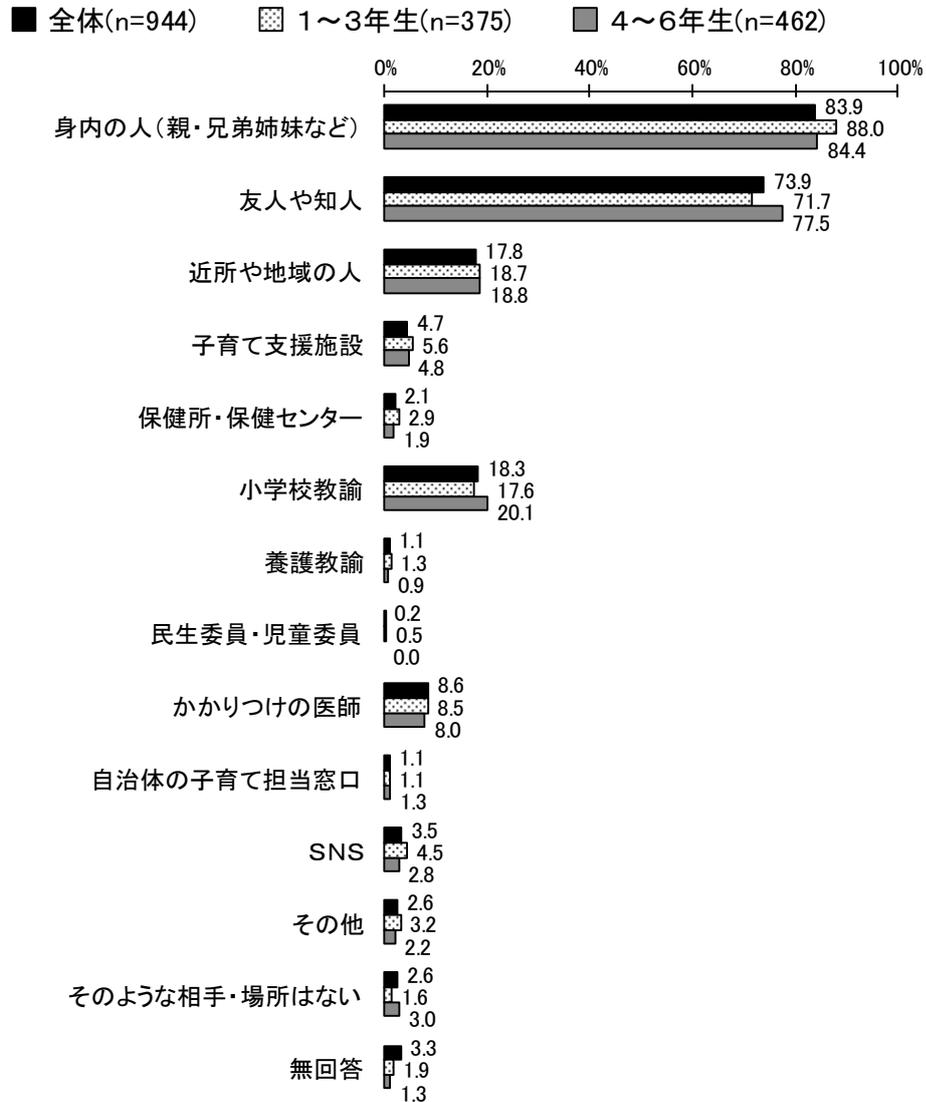


3-6 こどもの育ちを巡る環境

①子育ての相談相手

問16 こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰（どこ）ですか。
【複数回答】

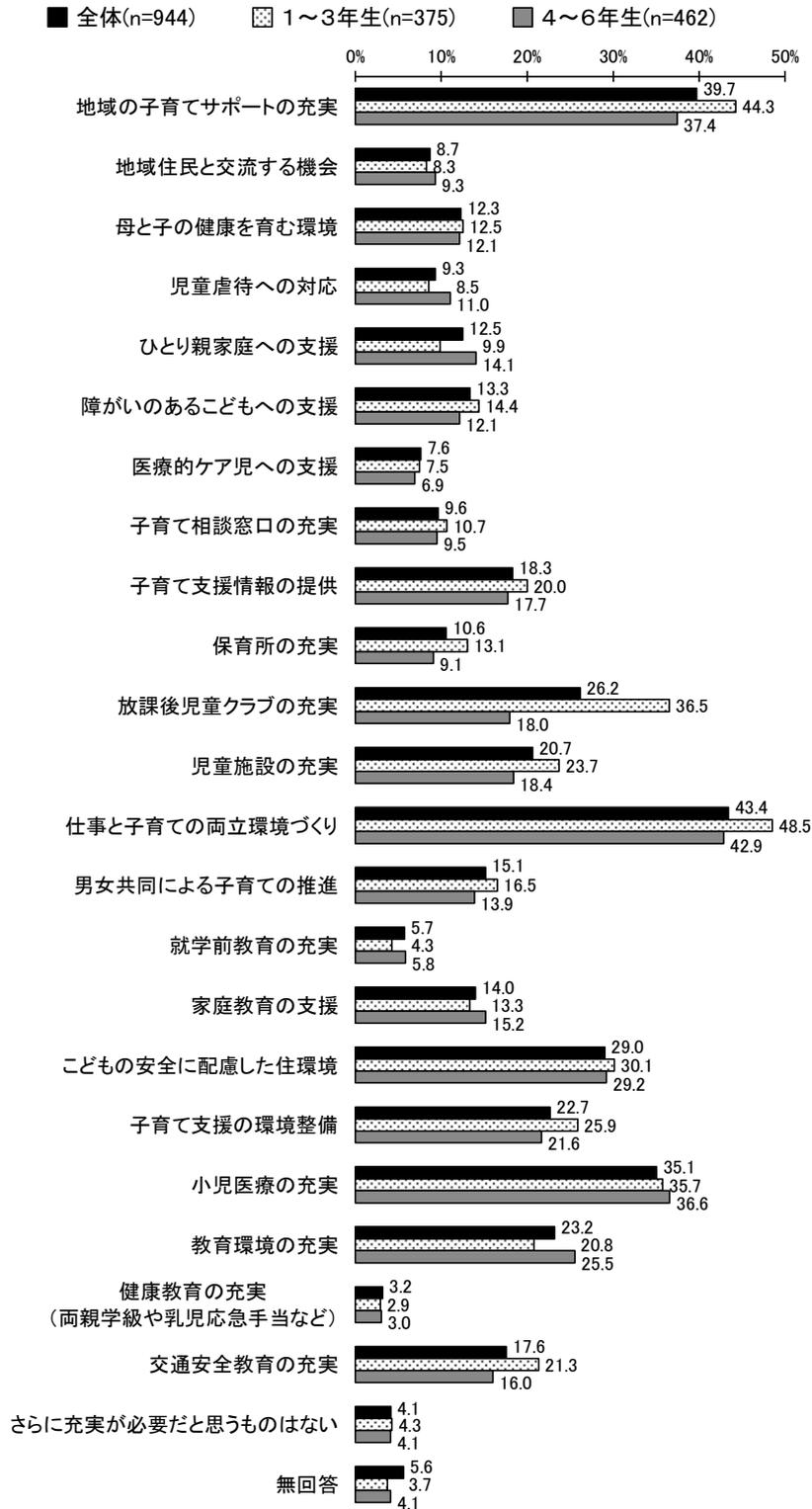
全体では「身内の人（親・兄弟姉妹など）」の割合が83.9%で最も高く、次いで「友人や知人」（73.9%）、「小学校教諭」（18.3%）などの順となっています。



②子育て環境で充実が必要なもの

問17 春日部市の子育て環境について、現在よりも、さらに充実が必要だと感じるものがありますか。【複数回答】

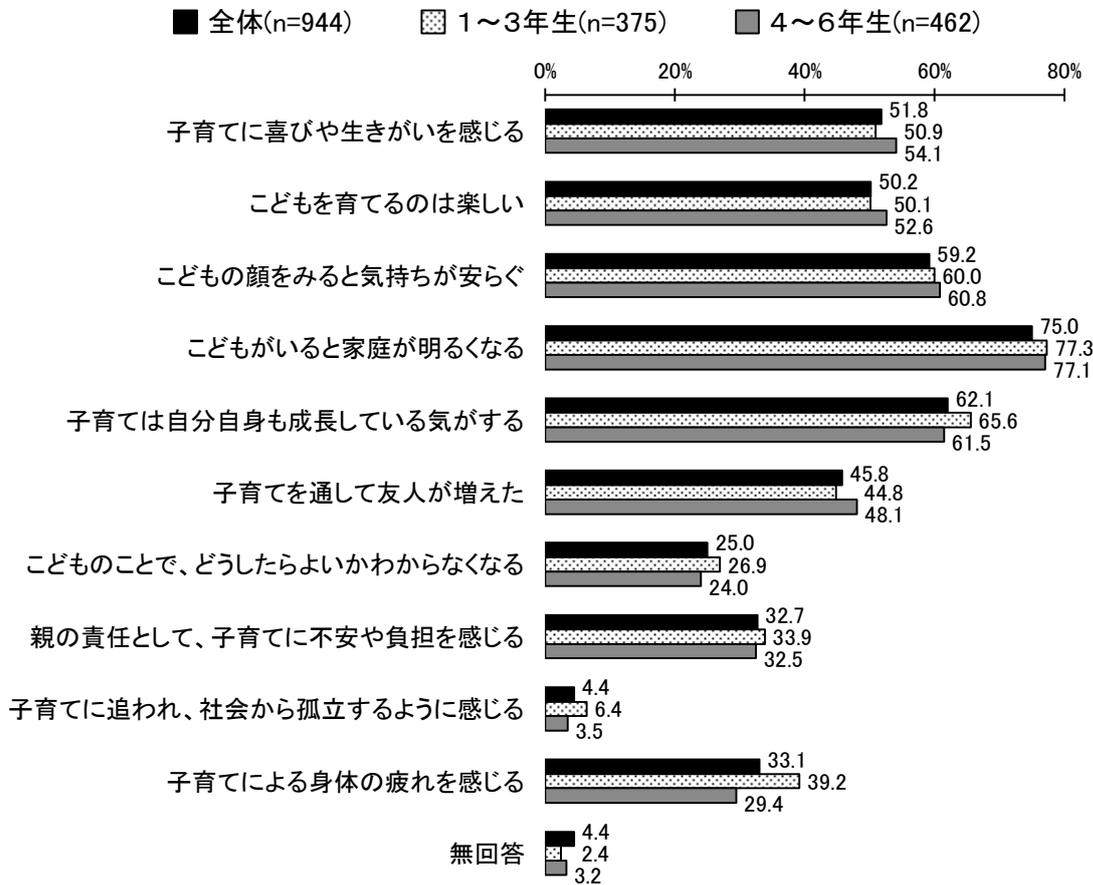
全体では「仕事と子育ての両立環境づくり」の割合が43.4%で最も高く、次いで「地域の子育てサポートの充実」(39.7%)、「小児医療の充実」(35.1%)などの順となっています。
1～3年生では「放課後児童クラブの充実」の割合が36.5%と高くなっています。



③子育てに感じること

問18 あなたは子育てについて、どのように感じますか。【複数回答】

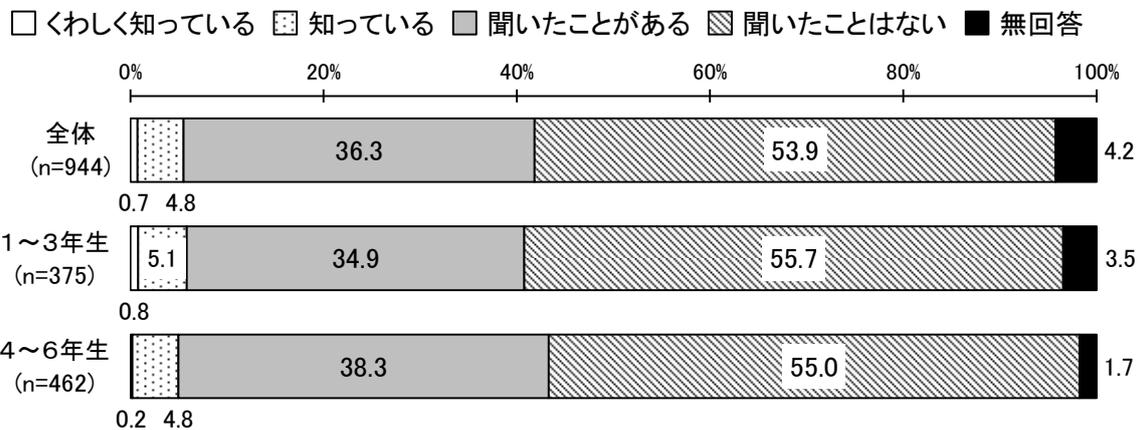
全体では「こどもがいると家庭が明るくなる」の割合が75.0%で最も高く、次いで「子育てでは自分自身も成長している気がする」(62.1%)、「こどもの顔を見ると気持ちが安らぐ」(59.2%)などの順となっています。



④「こども基本法」の認知

問19 新しい法律「こども基本法」について聞いたことがありますか。

全体では「聞いたことはない」の割合が53.9%で最も高く、次いで「聞いたことがある」(36.3%)、「知っている」(4.8%)などの順となっています。



4 自由記述

皆様から寄せられた自由意見について、内容を分類すると、「こども（親子）の遊び場・交流の場について」、「子育ての経済的支援について」、「保育施設、一時預かり事業について」などの意見が挙げられています。

対象	自由記述記載あり	自由記述記載率	カテゴリ分類後の回答数
未就学児童の保護者	471人	36.3%	624件
就学児童の保護者	333人	35.3%	417件

各カテゴリを合計回答数の多い順に並べると、下記のとおりです。

カテゴリ	カテゴリ分類後の回答数(件)		
	未就学児童	就学児童	合計
こども(親子)の遊び場・交流の場について	129	85	214
子育ての経済的支援について	88	71	159
保育施設、一時預かり事業について	114	16	130
こどもの放課後・長期休暇の居場所について	50	64	114
その他	81	28	109
生活環境、交通安全、防犯対策について	57	40	97
子育て相談、健診、医療について	58	30	88
学校、登校拒否、PTAについて	28	59	87
障がい児支援、医療ケア児支援について	19	24	43
合計	624	417	1,041